

2019年度

教育実施計画書

中央動物専門学校

動物看護科・動物看護研究科

一般科目	講義	一般教養	1学年	前後期
目的及 留意点	ビジネス能力検定試験3級合格を目指し、社会のルールを中心に学校生活やアルバイトにも役立つ知識や作法を学習する。後期にはビジネス・エチケットが身につくよう秘書検定対策にも取り組む。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	オリエンテーション	授業内容・進め方、ジョブパス説明、コミュニケーションの基本		
2	テキスト第一編 第1・2・3章	キャリアについて、8つの意識		
3	テキスト第一編 第4・5章	報連相、話し方と聞き方		
4	テキスト第一編 第6・7章	来客対応・会社訪問のマナー、会社関係のつきあい方		
5	確認テスト	実施・解説		
6	テキスト第二編 第1・2章	仕事への取り組み方、ビジネス文書の基本、電話対応		
7	テキスト第二編 第3・4章	統計・データのまとめ方、情報収集とメディアの活用		
8	テキスト第二編 第5・6章	会社を取りまく環境と経済の基本		
9	ジョブパス模擬テスト①	解答・解説		
10	ジョブパス模擬テスト②	解答・解説		
11	ジョブパス解説、コンセンサス・ゲーム	ディスカッションの基本について		
12	お礼状の書き方	社交文書(縦書き)の書き方、夏休みの課題提示		
13	PREP法①	夏休み課題をPREP法を使い発表準備		
14	PREP法②	課題発表		
15	前期定期試験	前期定期試験		
16	試験解答	試験答え合わせ		
17	就業中のマナー	メモの取り方		
18	夏休みの研修対策	接客用語。名刺の受け取り方。		
19	夏休みの研修対策	依頼の電話		
20	夏休みの研修対策	お礼状の書き方		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	電話対応 (1)	電話対応の基本。電話の受け方。		
2	電話対応 (2)	電話のかけ方。携帯電話のマナー。		
3	来客対応	出迎えから見送りまで。席次。		
4	訪問のマナー	訪問のマナーと面談の進め方。		
5	ビジネス文書 (1)	ビジネス文書の意義と書き方。社内文書の特徴と書き方。		
6	ビジネス文書 (2)	社外文書、社交文書の特徴と書き方。		
7	手帳の活用と名刺の整理	手帳の活用。名刺や情報の整理の仕方。		
8	仕事への取り組み	仕事への取り組み方		
9	企業の責任とコンプライアンス (1)	社会人としてのルール		
10	企業の責任とコンプライアンス (2)	企業倫理		
11	企業の責任とコンプライアンス (3)	会社組織とは		
12	仕事とIT (1)	情報セキュリティ		
13	仕事とIT (2)	個人情報保護		
14	売上と利益 (1)	売上・コスト・利益		
15	売上と利益 (2)	売上・コスト・利益		
16	試験対策	後期の復習		
17	後期定期試験	後期定期試験		
18	職場のルールと社会保障・税金 (1)	就業規則と労働法。給与の仕組み。		
19	職場のルールと社会保障・税金 (2)	社会保障の種類と仕組み。税金の基礎知識。		
20	筆記試験解答	一年間の総まとめ		

一般科目	演習	パソコン演習	1学年	前後期
目的及び留意点	パソコンの基本操作を通じ、情報の処理・加工・発信の技術を身に付ける。			
評価方法	実技課題			
テキスト	30時間でマスターOFFICE 2010			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	コンピュータ概論 1	コンピュータの仕組み キーボード操作 文字入力、各種変換		
2	コンピュータ概論 2	コンピュータの仕組み キーボード操作 文字入力、各種変換		
3	インターネット-1	インターネットの仕組み 検索機能の使い方		
4	ワープロ演習 1	文章入力 編集 1		
5	ワープロ演習 2	文章入力 編集 2		
6	ワープロ演習 3	文章入力 編集 3		
7	ワープロ演習 4	文章入力 編集 4		
8	表示位置	表示位置の調整		
9	文字装飾-1	フォント変更 太字・斜体・アンダーライン 他		
10	文字装飾-2 インデント	囲み文字 ルビ ルーラーの操作		
11	課題作成 1	入力、書式の確認		
12	表作成-1	表作成 セル幅 セル結合		
13	表作成-2	セル色・罫線変更		
14	課題作成 2	作表と編集		
15	図形挿入-1	ワードアート		
16	図形挿入-2	クリップアート		
17	課題作成 3	総合演習		
18	課題作成 4	総合演習		
19	インターネット-2	電子メール		
20	まとめ			
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	表計算演習 1	表計算の概要 データ入力		
2	表計算演習 2	表計算の概要 データ入力		
3	表計算演習 3	表計算の概要 データ入力		
4	印刷と基本操作 1	ページ設定 基本数式入力 書式各種		
5	印刷と基本操作 2	ページ設定 基本数式入力 書式各種		
6	印刷と基本操作 3	ページ設定 基本数式入力 書式各種		
7	関数-1	関数 sum average max min		
8	関数-2	関数 count counta countblank		
9	課題作成 1	関数と書式の確認		
10	罫線-1	罫線の種類		
11	罫線-2	セル結合・罫線		
12	罫線-3	セル色 オートフォーマット		
13	課題作成 2	作表		
14	グラフ-1	グラフの種類と適したグラフの選択		
15	グラフ-2	絵グラフ		
16	グラフ-3	グラフ まとめ		
17	課題作成 3	グラフ作成		
18	課題作成 4	グラフ作成		
19	関数-4	関数 if		
20	まとめ			

専門科目	講義	動物解剖学	1学年	前後期
目的及び留意点	生命維持の仕組みを形態学の面から学び、細胞、組織、臓器の各階層で理解することで、病的変化について学ぶ基盤をつくる。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	犬の解剖カラーリングアトラス			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	犬と猫の体の構造①	構造からみた体、胸腔・腹腔内臓器の位置・名称		
2	犬と猫の体の構造②	各身体の部位・名称		
3	皮膚・筋・骨格系①	皮膚の組織構造、皮膚の付属器		
4	皮膚・筋・骨格系②	骨の形態と構造、骨の組成と組織、関節の構造と形状、不動性の連結		
5	皮膚・筋・骨格系③	筋系の構造による分類、骨格筋の構造		
6	消化器系①	唾液腺・歯・食道・胃の構造		
7	消化器系②	小腸・大腸・肝臓・膵臓の構造		
8	呼吸器系①	上気道の構造、下気道・肺の構造		
9	呼吸器系②	気道と肺胞、内呼吸と外呼吸、ガス交換・運搬		
10	循環器系①	心臓の解剖学的構造、体循環・肺循環		
11	循環器系②	心臓の血管と神経・興奮と伝達、心電図、心臓の収縮		
12	循環器系③	動脈・静脈・毛細血管、リンパ管の構造、胸腺・脾臓について		
13	泌尿器系①	腎臓の構造、糸球体・尿細管の構造		
14	泌尿器系②	傍糸球体装置、腎臓から分泌される生理活性物質		
15	泌尿器系③	排尿路の構造、尿の貯蔵と排尿		
16	前期定期試験	前期定期試験		
17	試験復習	試験答え合わせ		
18	まとめ	部位の名称・皮膚・筋・骨格系の復習		
19	まとめ	消化系・呼吸器系の復習		
20	まとめ	循環器・泌尿器の復習		
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	生殖器系	雄の生殖器・副生殖腺の構造、雌の生殖器的構造		
2	内分泌系①	ホルモンの特徴、視床下部・下垂体の構造・ホルモン		
3	内分泌系②	甲状腺の構造・ホルモン、上皮小体の構造とホルモン		
4	内分泌系③	膵臓(ランゲルハンス島)・副腎・腎臓の構造とホルモン		
5	神経系①	神経細胞と支持細胞、神経系の構造		
6	神経系②	脊髄・脳幹の構造、小脳・間脳・大脳の構造		
7	神経系③	髄膜・脳脊髄液・血液脳関門		
8	神経系④	脊髄神経と脳神経、体性神経と自律神経の構造		
9	感覚器系①	眼球の構造と付属器、視覚		
10	感覚器系②	耳の構造、聴覚と平衡感覚		
11	感覚器系③	味覚器と味覚、嗅覚器と嗅覚		
12	比較解剖生理学	うさぎの解剖生理学		
13	比較解剖生理学	うさぎの解剖生理学		
14	比較解剖生理学	鳥類の解剖生理学		
15	比較解剖生理学	鳥類の解剖生理学		
16	後期定期試験	後期定期試験		
17	試験復習	試験答え合わせ		
18	まとめ	生殖器・内分泌の復習		
19	まとめ	神経系・感覚器の復習		
20	まとめ	1年間の総復習		

専門科目	講義	動物生理学	1学年	前後期
目的及び留意点	生命維持の仕組みを機能学の面から学び、細胞、組織、臓器の各階層で理解することで、病的変化について学ぶ基盤をつくる。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	形態機能概論 (1)	身体の階層性、細胞の構造、細胞小器官の構造と機能		
2	形態機能概論 (2)	細胞を構成する物質とエネルギー生成、ポンプ輸送		
3	形態機能概論 (3)	細胞の増殖と染色体、遺伝		
4	皮膚・筋・骨格系 (1)	皮膚の構造と機能、骨の組織と組成		
5	皮膚・筋・骨格系 (2)	骨の発生と成長、機能、骨格筋の神経支配		
6	消化器系 (1)	口腔・歯・唾液腺の機能と咀嚼のメカニズム、咽頭・食道の機能と嚥下のメカニズム		
7	消化器系 (2)	胃・小腸・大腸の機能、膵臓・肝臓・胆嚢の機能		
8	呼吸器系 (1)	呼吸器系と血液を介しての物質のやりとり、呼吸のメカニズム		
9	呼吸器系 (2)	呼吸器量、ガス交換・運搬、肺循環・呼吸運動の調整		
10	循環器系 (1)	心臓の血管と神経・興奮と伝達、心拍出量と血圧の調整		
11	循環器系 (2)	RBC、Hbの機能、赤血球の破壊と新生、血液凝固のメカニズム		
12	泌尿器系 (1)	腎臓・糸球体の機能・傍糸球体装置		
13	泌尿器系 (2)	腎臓から分泌される生理活性物質、尿の貯蔵と排尿		
14	前期定期試験	前期定期試験		
15	前期定期試験復習	前期定期試験答え合わせ		
16	総括	細胞生理学の復習		
17	総括	皮膚・筋・骨格系の復習		
18	総括	消化器系・呼吸器系の復習		
19	総括	循環器系・泌尿器系の復習		
20	総括	前期復習小テスト		
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	生殖器系 (1)	オスの生殖器・メスの生殖器		
2	生殖器系 (2)	発情期における身体の変化		
3	内分泌系 (1)	分泌の伝わり方とホルモンの生理作用、ホルモンのフィードバック		
4	内分泌系 (2)	視床下部・下垂体・上皮小体・甲状腺のホルモン		
5	内分泌系 (3)	膵臓 (ランゲルハンス島) ・副腎・腎臓のホルモン		
6	神経系 (1)	神経興奮の伝達、脊髄・脳幹の機能		
7	神経系 (2)	小脳・間脳・大脳の機能、血液脳関門の仕組み		
8	神経系 (3)	脊髄神経と脳神経、体性神経・自律神経の機能		
9	神経系 (4)	交感神経・副交感神経、痛みの分類と疼痛の発生機序		
10	免疫 (1)	生体に備わった自己防護機構、細胞性免疫・液性免疫		
11	免疫 (2)	アレルギーと生体防御関連臓器		
12	代謝 (1)	熱の出納と体温調節、タンパク質の代謝		
13	代謝 (2)	脂質・炭水化物の代謝		
14	後期定期試験	後期定期試験		
15	後期定期試験復習	後期定期試験答え合わせ		
16	総括	生殖器系の復習		
17	総括	内分泌系の復習		
18	総括	神経系の復習		
19	総括	免疫・代謝の復習		
20	総括	1年間のまとめ		

専門科目	講義	動物病理学	1学年	前後期
目的及 留意点	動物解剖学・動物生理学を中心とした動物の正常状態の知識を基に身体に起こる異常を認識するため、基礎病変の概念、原因、病理学的所見などを画像などを用い学習する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント、動物病理学			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	動物病理学の概要	病理解剖学と病理生理学とに分類		
2	生体の死・局所の死・細胞死	何らかの死は全て細胞死からなる。		
3	局所の死→壊死 アポトーシス	壊死の分類、アポトーシスの意義		
4	循環障害①	血液循環障害のうちの全身血液循環障害		
5	循環障害②	血液循環障害のうちの局所血液循環障害①		
6	循環障害③	血液循環障害のうちの局所血液循環障害②		
7	循環障害④	血液循環障害のうちの局所血液循環障害③		
8	循環障害⑤	リンパ循環障害		
9	退行性変化①	萎縮		
10	退行性変化②	変性		
11	退行性変化③	壊死 (→復習) ・核の退行性変化		
12	進行性変化①	肥大および化生		
13	進行性変化②	修理現象		
14	進行性変化③	移植および組織培養		
15	試験	筆記試験		
16	総括	壊死の分類、アポトーシスの意義		
17	総括	血液循環障害のうちの全身血液循環障害		
18	総括	血液循環障害のうちの局所血液循環障害		
19	総括	萎縮・変性・壊死		
20	総括	肥大および化生		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	炎症①	総論		
2	炎症②	経過および転帰		
3	炎症③	分類		
4	炎症④	各論 変質性炎症・滲出性炎症		
5	炎症⑤	各論 過形成炎症 特殊性炎症		
6	先天異常①	総論		
7	先天異常②	種類・複体奇形		
8	免疫異常①	免疫反応と担当細胞		
9	免疫異常②	アレルギー型		
10	老齢性病変	形態的变化・生理的变化		
11	腫瘍①	総論		
12	腫瘍②	各論 成熟型非上皮系腫瘍・未熟型非上皮系腫瘍		
13	腫瘍③	各論 成熟型上皮系腫瘍・未熟型上皮系腫瘍		
14	試験	筆記試験		
15	総括	炎症 1		
16	総括	炎症 2		
17	総括	先天異常		
18	総括	免疫異常		
19	総括	老齢性病変		
20	総括	腫瘍		

専門科目	講義	動物内科看護学	1学年	前期
目的及び留意点	動物看護師の基本的役割を把握し、またその技術を身に付ける。様々な状況における動物への接し方、扱い方に留意する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	コンパニオンアニマルの看護技術学			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	動物看護師の役割、保定と抱き方	動物看護師の役割とは・保定とバリケンから出す		
2	保定	保定の際必要となる道具の使い方		
3	一般身体検査	TPR、体重測定		
4	動物の観察1、一般状態の把握	口腔内、可視粘膜などの観察・BCS・聴診器		
5	動物の観察2、視診・触診する	方法やその際の保定法		
6	レントゲン検査	レントゲンの基礎知識と準備		
7	心電図・超音波検査とは	心電図・超音波検査の基礎知識と準備		
8	動物の観察3、耳	耳の構造、耳道検査の保定、耳道洗浄の仕方		
9	動物の観察4、眼	眼の構造、眼検査の保定、シルマーティアテストなど		
10	注射薬	注射薬の種類と準備		
11	投薬法	薬の形状と投薬時間、投薬方法		
12	採血と静脈注射1	採血の概要		
13	採血と静脈注射2	採血準備と分注の仕方、採血法		
14	静脈カテーテル1	静脈カテーテルの概要		
15	静脈カテーテル2	静脈カテーテル保定、設置法		
16	輸液	輸液ポンプの使用法		
17	猫の保定	猫の保定		
18	大型犬の保定	大型犬の保定		
19	まとめ			
20	まとめ			

実習科目	講義	動物外科看護学	1学年	前後期
目的及び留意点	周術期の術前・術中・術後において、動物看護師の役割である外科手術を補助するために必要な外科看護技術を身に付ける。看護動物が安全に麻酔を遂行するために、術前の準備と術中のモニタリングについて学ぶ。			
評価方法	筆記試験・実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	外科学とは？ 無菌？	外科の目的、内容。無菌について。		
2	微生物の制御	感染とは？無菌操作。		
3	消毒法	消毒とは。		
4	滅菌法	滅菌とは。滅菌パックの作り方。		
5	まとめ	復習①		
6	手術にあたって	手術器具の種類、名前、取り扱い法 ①		
7	手術にあたって	手術器具の種類、名前、取り扱い法 ②		
8	手術にあたって	器械台の作り方		
9	まとめ	復習②		
10	手術にあたって	手洗い法		
11	手術にあたって	手洗い法 実践①		
12	手術にあたって	手洗い法 実践②		
13	手術にあたって	ドレープのたたみ方、ガウンの着方、グローブの着用法		
14	手術にあたって	ドレープのたたみ方、ガウンの着方、グローブの着用法 実践①		
15	手術にあたって	ドレープのたたみ方、ガウンの着方、グローブの着用法 実践②		
16	まとめ	復習③		
17	手術を受ける患者の準備	術前処置の方法		
18	手術環境の設備と管理	オペ室内の設備について		
19	まとめ	復習④		
20	前期の復習	テスト		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	前期の復習	前期まとめ		
2	麻酔法	概論・局所麻酔		
3	麻酔法	麻酔前の準備		
4	麻酔法	麻酔前投与		
5	麻酔法	麻酔薬について		
6	まとめ	復習①		
7	麻酔法	麻酔導入		
8	麻酔法	麻酔維持、吸入麻酔薬		
9	麻酔法	麻酔装置、回路		
10	まとめ	復習②		
11	麻酔法	覚醒		
12	麻酔法	薬用量の計算①		
13	麻酔法	薬用量の計算②		
14	まとめ	復習②		
15	麻酔法	モニタリング①		
16	麻酔法	モニタリング②		
17	まとめ	復習③		
18	麻酔法	エマージェンシー、注意の必要な患者の管理①		
19	麻酔法	エマージェンシー、注意の必要な患者の管理②		
20	後期の復習	テスト		

専門科目	講義	動物臨床看護学総論	1学年	前後期
目的及び留意点	動物看護過程を理解し、個別性を重視した動物看護の基本的な考え方を身に付ける			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	獣医療の推移と動物看護師の役割	獣医療の変化 動物看護師の業務内容		
2	獣医療の推移と動物看護師の役割	看護対象と看護介入		
3	獣医療の推移と動物看護師の役割	動物看護師の心構え、インフォームドコンセント		
4	動物看護過程	動物看護過程とは何か		
5	動物看護過程	アセスメントとは		
6	動物看護計画	動物看護計画の立て方		
7	動物看護計画	動物看護計画の表記法		
8	動物看護実践	動物看護記録の取り方		
9	動物看護実践	動物看護記録の表記法		
10	動物看護評価	動物看護記録の見直しと振り返り		
11	動物看護計画の立案	症例における動物看護計画の立案と考察		
12	動物看護計画の立案	症例における動物看護計画の立案と考察		
13	動物看護計画の立案	症例における動物看護計画の立案と考察		
14	動物看護計画の立案	症例における動物看護計画の立案と考察		
15	入院動物の看護	入院の手順と注意事項		
16	入院動物の看護	看護動物の受け入れ準備、受け入れ時の注意事項		
17	入院動物の看護	看護動物の状態に応じた入院環境の工夫		
18	入院動物の看護	入院動物管理で特に重要な動物の観察事項		
19	入院動物の看護	入院ケージの衛生管理、リスクマネジメント		
20	総括	前期のまとめ		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	経過に基づく動物看護	急性期の動物看護		
2	経過に基づく動物看護	慢性期・回復期・終末期の動物看護		
3	経過に基づく動物看護	周術期の動物看護		
4	入院動物の看護	退院の準備、手順		
5	重症動物の入院管理	重症動物が呈する症状に対する看護		
6	重症動物の入院管理	危篤状態にある動物の苦痛の緩和		
7	痛みのある動物の入院管理	疼痛管理		
8	痛みのある動物の入院管理	動物を観察し、アセスメントを行う		
9	痛みのある動物の入院管理	痛みを持つ動物に対する具体的援助		
10	ストレスの管理	ストレスによる身体への影響と動物看護介入		
11	消化器疾患の動物看護	消化器疾患の動物看護		
12	循環器疾患の動物看護	消化器疾患の動物看護		
13	内分泌疾患の動物看護	循環器疾患の動物看護		
14	泌尿器疾患の動物看護	泌尿器疾患の動物看護		
15	関節疾患の動物看護	関節疾患の動物看護		
16	腫瘍をもつ動物看護	腫瘍をもつ動物看護		
17	腫瘍をもつ動物看護	腫瘍をもつ動物看護		
18	腫瘍をもつ動物看護	腫瘍をもつ動物看護		
19	総括	後期のまとめ		
20	総括	1年間のまとめ		

専門科目	講義	動物臨床看護学各論	1学年	前後期
目的及び留意点	犬猫を中心に主要な疾病の機序、症状、診断、治療などを学ぶ。健康への回復を援助するため疾病に対する看護のポイント、健康の保持と促進ができるよう疾病予防の知識を学習する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	カラーアトラス最新くわしい犬の病気大図典			
指 導 内 容				
前 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	総論	動物臨床看護学概論		
2	運動器疾患①	骨折		
3	運動器疾患②	膝蓋骨脱臼症		
4	運動器疾患③	前十字靭帯断裂症		
5	運動器疾患④	股関節形成不全症		
6	運動器疾患⑤	肘異形成、レッグペルテス、関節リウマチ、汎骨炎、成長版早期閉鎖		
7	呼吸器疾患①	鼻炎、鼻腔内腫瘍、短頭種気道症候群、発作性呼吸		
8	呼吸器疾患②	気管虚脱、猫喘息		
9	呼吸器疾患③	肺炎、肺水腫、肺気腫		
10	呼吸器疾患④	胸水、気胸、漏斗胸		
11	呼吸器疾患⑤	熱中症		
12	呼吸器疾患⑥	横隔膜ヘルニア、猫感染性呼吸器疾患		
13	復習	運動器疾患復習		
14	復習	呼吸器疾患復習		
15	試験	前期筆記試験		
16	試験	前期筆記試験振り返り		
17	症例検討①	症例検討①		
18	症例検討②	症例検討②		
19	症例検討③	症例検討③		
20	前期総括	前期総括		
後 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	消化器疾患①	歯周病、乳歯遺残、不正咬合、歯折、歯瘻		
2	消化器疾患②	口内炎、口蓋裂、口腔内腫瘍		
3	消化器疾患③	巨大食道症、食道狭窄症、食道炎		
4	消化器疾患④	胃炎、胃拡張胃捻転症候群		
5	消化器疾患⑤	炎症性腸疾患、リンパ管拡張症、感染性腸炎		
6	消化器疾患⑥	巨大結腸症、臍ヘルニア、腸閉塞、直腸脱		
7	消化器疾患⑦	肛門囊炎、肛門周囲線腫、会陰ヘルニア		
8	消化器疾患⑧	肝炎、肝硬変、肝リピドーシス		
9	消化器疾患⑨	体循環門脈シャント		
10	消化器疾患⑩	胆泥症、胆石、胆管閉塞、胆嚢粘液嚢腫		
11	消化器疾患⑪	膵炎		
12	消化器疾患⑫	膵外分泌不全		
13	復習	消化器疾患復習①		
14	復習	消化器疾患復習②		
15	試験	前期筆記試験		
16	試験	前期筆記試験振り返り		
17	症例検討①	症例検討①		
18	症例検討②	症例検討②		
19	症例検討③	症例検討③		
20	後期総括	後期総括		

専門科目	講義	動物感染症学	1学年	前後期
目的及び留意点	病原体の分類、性状等を理解し、感染や疾患発生のメカニズムを学習し、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を理解する。また犬猫に感染する寄生虫の形態や生活環境など基礎を理解し、検査方法および虫卵の鑑別についても習得する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント、犬・猫・エキゾチックペットの寄生虫ビジュアルガイド			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	寄生虫とは	寄生虫とはどのような生き物か		
2	内部寄生虫の分類	蠕虫類・原虫類の分類		
3	外部寄生虫の分類	外部寄生虫の分類 (ノミ・マダニとは)		
4	消化器症状が見られる内部寄生虫 1	犬回虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・予防・治療 1		
5	消化器症状が見られる内部寄生虫 2	犬回虫 2		
6	消化器症状が見られる内部寄生虫 3	犬鉤虫		
7	消化器症状が見られる内部寄生虫 4	犬鞭虫		
8	消化器症状が見られる内部寄生虫 5	犬糞線虫		
9	消化器症状が見られる内部寄生虫 6	原虫 (イソスポラ・クリプトスポロジウム)		
10	消化器症状が見られる内部寄生虫 7	原虫 (ジアルジア・腸トリコモナス)		
11	消化器症状が見られる内部寄生虫 8	猫の回虫・鉤虫・糞線虫		
12	消化器症状が見られる内部寄生虫 9	猫の壺型吸虫・イソスポラ		
13	消化器症状が見られる内部寄生虫 10	トキソプラズマ		
14	ほぼ無症状の内部寄生虫 1	瓜実条虫・猫条虫		
15	ほぼ無症状の内部寄生虫 2	マンソン裂頭条虫		
16	定期試験	定期試験		
17	試験復習	試験答え合わせ		
18	校外学習	目黒寄生虫館見学		
19	皮膚症状を伴う外部寄生虫 1	イヌノミ・ネコノミ		
20	皮膚症状を伴う外部寄生虫 2	ノミが媒介する病気		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	全身症状が見られる内部寄生虫 1	バベシア・ヘモプラズマ		
2	全身症状が見られる内部寄生虫 2	犬糸状虫 1		
3	全身症状が見られる内部寄生虫 3	犬糸状虫 2		
4	寄生虫実習 1	糞便検査 (直接法)		
5	寄生虫実習 1	糞便検査 (直接法)		
6	寄生虫実習 2	糞便検査 (遠心浮遊法)		
7	寄生虫実習 2	糞便検査 (遠心浮遊法)		
8	寄生虫実習 3	フィラリア検査		
9	寄生虫実習 3	フィラリア検査		
10	寄生虫実習 4	外部寄生虫		
11	寄生虫実習 4	外部寄生虫		
12	寄生虫実習 5	アニサキス		
13	寄生虫実習 5	アニサキス		
14	皮膚症状を伴う外部寄生虫 1	イヌジラミ・イヌハジラミ・ネコハジラミ		
15	皮膚症状を伴う外部寄生虫 2	イヌヒゼンダニ		
16	定期試験	定期試験		
17	試験復習	試験答え合わせ		
18	皮膚症状を伴う外部寄生虫 3	イヌキビダニ		
19	皮膚症状を伴う外部寄生虫 4	イヌツメダニ・ネコツメダニ		
20	総括	年間のまとめ		

専門科目	講義	公衆衛生学	1学年	前後期
目的及び留意点	個々の動物の生命と健康維持に障害を及ぼす病原体の知識をもとに、これらの病原体によって引き起こされる感染症をどのように予防するか考える。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	病原体・衛生管理学を学ぶためのキーワード	病原体・衛生管理学を学ぶためのキーワード		
2	感染症とは1	感染が成り立つ3つの要因と対策		
3	感染症とは2	感染経路とは		
4	感染症とは3	感染と発症について		
5	感染症とは4	人獣共通感染症とは・関係法規		
6	細菌1	細菌の構造		
7	細菌2	細菌の分類と染色方法		
8	細菌3	細菌の栄養素・増殖因子・特殊な細菌		
9	ウイルス1	ウイルスの構造		
10	ウイルス2	ウイルスの感染経過・培養方法		
11	真菌1	真菌の構造と増殖様式		
12	真菌2	主な病原性真菌の分類と検査方法		
13	原虫1	原虫の構造と種類		
14	原虫2	原虫の増殖様式		
15	試験	筆記試験		
16	まとめ2	微生物の要点解説1		
17	まとめ3	微生物の要点解説2		
18	まとめ4	微生物の要点解説3		
19	まとめ5	微生物の要点解説4		
20	まとめ6	微生物の要点解説5		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	感染症の予防1	院内感染を防ぐ		
2	感染症の予防2	ワクチンについて		
3	感染症の予防3	ワクチンプロトコールとワクチンの種類		
4	感染症の予防4	コアワクチンとノンコアワクチン・ワクチンの注意点と副作用		
5	滅菌法と消毒法1	衛生管理について		
6	滅菌法と消毒法2	滅菌の定義・目的		
7	滅菌法と消毒法3	滅菌の方法・注意点		
8	滅菌法と消毒法4	消毒の定義・目的		
9	滅菌法と消毒法5	消毒の方法・注意点		
10	滅菌法と消毒法6	消毒薬の種類		
11	滅菌法と消毒法7	消毒薬の種類		
12	滅菌法と消毒法8	消毒薬の種類		
13	滅菌法と消毒法9	希釈濃度計算		
14	滅菌法と消毒法10	希釈濃度の計算		
15	試験	筆記試験		
16	産業動物の滅菌と消毒	外部からの持ち込み防止		
17	産業動物の滅菌と消毒	外部への排出阻止について		
18	まとめ	まとめ		
19	まとめ	まとめ		
20	まとめ	まとめ		

専門科目	講義	動物臨床栄養学	1学年	後期
目的及び留意点	後期では、基本的な栄養素の知識をを会得し、近年、動物が家族の一員として位置づけられ、人と生活を共にする動物の「食」に関する環境の変化を学ぶことで病気の予防・健康維持を飼い主指導できるようする。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	犬と猫の栄養学			
指 導 内 容				
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	基礎栄養学 序章	体内でのアミノ酸代謝を学び、特に窒素動態を理解する		
2	栄養素とエネルギー	六大栄養素とエネルギー		
3	犬と猫のエネルギー要求量の計算方法	犬と猫のエネルギー要求量の計算方法		
4	栄養素①	水		
5	栄養素①	水		
6	栄養素②	炭水化物		
7	栄養素②	炭水化物		
8	栄養素③	タンパク質		
9	栄養素④	脂質		
10	消化と吸収	消化と吸収について		
11	消化と吸収	消化と吸収について		
12	栄養素⑤	ビタミン		
13	栄養素⑥	ミネラル		
14	試験概要	後期総復習		
15	まとめ	試験解説		
16	まとめ	カロリー計算方法		
17	まとめ	栄養学まとめ		
18	まとめ	栄養学まとめ		
19	まとめ	栄養学まとめ		
20	まとめ	栄養学まとめ		

専門科目	講義	動物行動・動物人間関係学	1学年	後期
目的及び留意点	犬や猫の種としての行動様式、学習原理を基に、適正飼養と基本的なしつけ、問題行動を理解し飼い主への指導が出来るようにする。また動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果について理解する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	犬の起源と家畜化 1	犬の起源と家畜化 1		
2	犬の起源と家畜化 2	犬の起源と家畜化 2		
3	使役動物と人の絆	使役動物と人の絆		
4	アニマルセラピーの歴史	アニマルセラピーの歴史		
5	動物介在活動・療法・教育に関して	動物介在活動・療法・教育に関して		
6	ペットと人の絆	ペットと人の絆		
7	子どもの発達と動物の関連性	子どもの発達と動物の関連性		
8	高齢者施設に及ぼすペットの効果	高齢者施設に及ぼすペットの効果		
9	動物がもたらす教育効果・事例	動物がもたらす教育効果・事例		
10	リハビリにおける動物の役割に関して	リハビリにおける動物の役割に関して		
11	動物介在活動に参加する動物に関して	動物介在活動に参加する動物に関して		
12	動物介在活動計画を立案	動物介在活動計画を立案		
13	動物の行動とは	動物の行動とは		
14	犬の本能	犬の本能		
15	犬の成長	犬の成長		
16	犬の訓練用具	犬の訓練用具		
17	猫の習性・行動	猫の習性・行動		
18	動物の社会行動	動物の社会行動		
19	犬の学習理論	犬の学習理論		
20	振り返り	振り返り		

専門科目	講義	動物福祉倫理	1学年	前後期
目的及び留意点	獣医療・動物愛護・動物福祉・社会奉仕などの分野に動物看護師として貢献するために必要な生命倫理の基本理念を学習する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	『福祉』の概念		
2	動物の福祉 歴史①	動物観に対して影響を与える要因 (世界の文化・宗教)		
3	動物の福祉 歴史②	動物観に対して影響を与える要因 (近現代における動物観の変化)		
4	動物の福祉 歴史③	動物観の歴史的変遷 (中世ヨーロッパにおける動物と人とのかかわり)		
5	動物の福祉 歴史④	動物観の歴史的変遷 (日本での動物と人とのかかわり)		
6	動物の福祉 歴史⑤	動物観の歴史的変遷 (日本での動物と人とのかかわり)		
7	動物生命倫理	生命倫理 動物生命倫理		
8	動物福祉①	動物福祉とは		
9	動物福祉②	近代の動物愛護運動		
10	動物福祉③	現代の動物愛護運動		
11	動物福祉④	動物の権利と動物福祉		
12	動物福祉⑤	日本における動物愛護と世界における動物福祉		
13	動物福祉の評価①	動物福祉の定義と評価		
14	動物福祉の評価②	動物福祉の生理学的指標		
15	動物福祉の評価③	動物福祉の行動学的評価		
16	動物福祉の評価④	生理学的・行動学的指標の長所と短所		
17	試験			
18	グループワーク			
19	成果発表			
20	総括			
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	動物福祉と社会①	各国の動物福祉に関する法律・規則		
2	動物福祉と社会②	動物愛護管理法		
3	動物福祉と社会③	経済活動と動物福祉、動物福祉教育		
4	野生動物の福祉①	野生動物の保護・管理		
5	野生動物の福祉②	野生動物の保護・管理福祉に関する団体の活動		
6	展示動物・使役動物の福祉①	環境の変化、緩和の方法		
7	展示動物・使役動物の福祉②	補助犬		
8	実験動物の福祉	歴史、倫理的な動物実験		
9	産業動物の福祉	5つの自由、国際的福祉基準		
10	伴侶動物の福祉①	現状、適正飼養		
11	伴侶動物の福祉②	繁殖、流通、利用に関する問題点		
12	伴侶動物の福祉③	飼育放棄と飼主のいない動物の問題、殺処分の問題		
13	伴侶動物の福祉④	動物虐待、災害時の対策		
14	伴侶動物の福祉⑤	インフォームドコンセント		
15	伴侶動物の福祉⑥	安楽死		
16	伴侶動物の福祉⑦	安楽死		
17	試験			
18	グループワーク			
19	成果発表			
20	総括			

専門科目	講義	伴侶動物学	1学年	前後期
目的及び留意点	動物の生態や生息環境を理解したうえで、健康管理や飼養管理法に必要な知識を習得する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指導内容				
前期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	犬舎の掃除の仕方①	動物管理室掃除スケジュール (一日のスケジュール、日誌・健康管理表の説明) ①		
2	犬舎の掃除の仕方②	動物管理室掃除スケジュール (一日のスケジュール、日誌・健康管理表の説明) ②		
3	犬舎の掃除の仕方③	動物管理室掃除スケジュール (犬舎の掃除方法ほか)		
4	犬舎の掃除の仕方④	動物管理室掃除スケジュール (消毒薬について等)		
5	散歩の仕方	散歩の仕方・コース・注意点		
6	散歩の仕方	散歩の仕方・コース・注意点		
7	動物と暮らすということ①	イヌの起源と人との関わり		
8	動物と暮らすということ②	イヌの特性①		
9	動物と暮らすということ③	イヌの特性②		
10	動物と暮らすということ④	イヌの特性③		
11	動物と暮らすということ⑤	ネコの起源と人との関わり		
12	動物と暮らすということ⑥	ネコの特性①		
13	動物と暮らすということ⑦	ネコの特性②		
14	動物と暮らすということ	ビデオ学習「心の声に耳をすませて」		
15	適切な飼育環境①	イヌの適切な飼育環境		
16	適切な飼育環境②	ネコの適切な飼育環境		
17	適切な飼育環境③	グループワーク		
18	適切な飼育環境④	グループワーク発表		
19	試験	前期試験		
20	試験	前期試験復習		
後期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	健康管理①	ウェルネスプログラム・アニマルウェルネスについて		
2	健康管理②	ライフステージ別ウェルネスプログラムについて		
3	健康管理③	グルーミング・予防歯科		
4	健康管理④	狂犬病について		
5	健康管理⑤	狂犬病予防法について		
6	健康管理⑥	ビデオ学習「人と動物の狂犬病」		
7	健康管理⑦	イヌの混合ワクチンで予防できる疾患①		
8	健康管理⑧	イヌの混合ワクチンで予防できる疾患②		
9	健康管理⑨	ネコの混合ワクチンで予防できる疾患①		
10	健康管理⑩	ネコの混合ワクチンで予防できる疾患②		
11	健康管理⑪	フィラリア症について		
12	健康管理⑫	フィラリア症予防について		
13	健康管理⑬	ビデオ学習「カルドメックチュアブル (フィラリア症)」		
14	健康管理⑭	外部寄生虫予防について		
15	健康管理⑮	ビデオ学習「フロントラインプラス (外部寄生虫)」		
16	健康管理⑯	避妊去勢手術について		
17	健康管理⑰	グループワーク		
18	まとめ	グループワーク発表		
19	まとめ	後期試験		
20	試験	後期試験復習		

専門科目	講義	産業動物・実験動物学	1学年	後期
目的及び留意点	1年次は、主に産業動物の概要とウシの歴史や品種、飼育管理法、および畜産業など社会とのかかわりについて理解する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	産業動物の定義と特徴	経済行為としての飼養される動物とその種類		
2	産業動物の定義と特徴	産業動物と家畜の違い		
3	産業動物の定義と特徴	制限飼養と終生飼養		
4	飼養頭数と飼料自給率	FAO統計など		
5	飼養・出荷にあたっての法的規制	動物の愛護及び管理に関する法律		
6	飼養・出荷にあたっての法的規制	飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律		
7	飼養・出荷にあたっての法的規制	家畜伝染予防法、牛海面状脳症対策特別措置法		
8	飼養・出荷にあたっての法的規制	と畜場法、OIE		
9	家畜化の過程	ウシの祖先種から家畜化の過程		
10	乳用牛の品種	代表的な3品種の名称と特徴		
11	肉用牛の品種	代表的な和牛4品種と世界3大肉用品種の名称と特徴		
12	ウシの身体と食性	消化器の解剖・生理、消化のシステム		
13	ウシの身体と食性	偶蹄、感覚器		
14	ウシの身体と食性	繁殖		
15	ウシの飼養管理	乳用牛と肉用牛のライフサイクル		
16	ウシの飼養管理	哺乳期・育成期		
17	ウシの飼養管理	分娩牛		
18	ウシの飼養管理	繁殖管理		
19	ウシの飼養管理	搾乳管理		
20	ウシの飼養管理	肉用牛の飼養方式		

専門科目	講義	動物看護学概論	1学年	前後期
目的及び留意点	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	看護とは何か	概略の説明		
2	看護とは何かを考える	「看護とは何か」についてグループに分かれてディスカッション		
3	看護とは何かを考える	「看護とは何か」についてグループごとに発表		
4	歴史にみる看護の誕生と発展	ナイチンゲール看護論を講義		
5	歴史にみる看護の誕生と発展	事例を提示し考える		
6	歴史にみる看護の誕生と発展	ヘンダーソン看護論を講義		
7	歴史にみる看護の誕生と発展	事例を提示し考える		
8	動物看護の概念	動物看護の目的と必要性		
9	動物看護の概念	動物看護の生活ステージについての講義		
10	動物看護の概念	健康とは何かについて講義		
11	動物看護の概念	事例を提示して考える		
12	動物看護の本質	動物看護の視点について講義する		
13	動物看護の本質	動物看護の視点を養う		
14	動物看護者倫理	動物看護者倫理綱領 I		
15	動物看護者倫理	動物看護者倫理綱領 II		
16	動物看護者倫理	各条令文の事例を提示し考える		
17	動物看護とは	動物病院での事例をあげディスカッション		
18	ペットロス	定義、種類、対応等について講義		
19	ペットロス	定義、種類、対応等についてディスカッション		
20	まとめ			
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	獣医療の歴史	ヒトと動物の起源		
2	獣医療の歴史	歴史上にみる獣医療の歴史		
3	獣医療の歴史	日本国内の獣医療の歴史 I		
4	獣医療の歴史	日本国内の獣医療の歴史 II		
5	動物看護の資格化の軌跡	動物看護の歴史		
6	動物看護の資格化の軌跡	動物看護師の職域と現状、未来		
7	動物看護師の需要と必要性	動物看護師と獣医師の職域の違い		
8	動物看護師の需要と必要性	動物看護師と獣医師の視点の違い		
9	動物看護師の需要と必要性	動物病院での動物看護について講義		
10	獣医療の倫理	バイオエシックスについて考え、講義する		
11	獣医療の倫理	パターンリズムについて考え、講義する		
12	インフォーム・ドコンセント	原則について 講義する		
13	インフォームド・コンセント	問題と対応について考える		
14	チーム獣医療について	事例をあげ、チーム医療についての必要性を考える		
15	動物看護師について	国際的な違いを講義する I		
16	動物看護師について	国際的な違いを講義する II		
17	動物看護師について	動物看護者の業務指針について講義		
18	動物看護	動物看護についてレポート作成		
19	動物看護	動物看護について振り返り 発表		
20	まとめ	まとめ		

専門科目	講義	動物臨床検査学	1学年	前後期
目的及び留意点	生体より得られる血液・糞便・尿・細胞などを用いた検査から生体に起こる変化を検出し、診断へと導くことの意義や検体の扱いについて理解する。生体検査としてX線検査、超音波検査、心電図検査、内視鏡検査、CT及びMRI検査の特徴と検査に関わる基本事項を学ぶ。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	コンパニオンアニマルの看護技術学・犬と猫の臨床検査マスターブック			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	臨床検査学 総論	臨床検査の目的と動物病院における動物看護師の役割について		
2	臨床検査の種類	動物看護師が関わる臨床検査の種類について		
3	主な検査機器	検査機器・器具の名称と用途について		
4	小テスト	臨床検査の概要についての理解度を確認する		
5	尿検査について (1)	尿検査の概論		
6	尿検査について (2)	採尿方法とその取扱い		
7	尿検査について (3)	検査項目について		
8	尿検査について (4)	手技・評価方法について		
9	小テスト	糞便検査の意義と評価についての理解度を確認する		
10	糞便検査について (1)	糞便検査の概論		
11	糞便検査について (2)	採便方法とその取扱い・検査項目について		
12	糞便検査について (3)	手技・評価方法について		
13	糞便検査について (4)	集卵法について		
14	小テスト	尿検査の意義と手技についての理解度を確認する		
15	テスト	筆記試験		
16	まとめ	試験の解説		
17	まとめ	院内設備・検査機器のメンテナンス方法について		
18	まとめ	院内設備・検査機器のメンテナンス方法について		
19	まとめ	症例検討		
20	まとめ	症例検討		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	血液検査について (1)	血液検査の概論		
2	血液検査について (2)	採血方法・取扱いについて		
3	血液検査について (3)	CBCの検査項目について (1)		
4	血液検査について (4)	CBCの検査項目について (2)		
5	血液検査について (5)	CBCの検査項目について (3)		
6	小テスト	CBCについての理解度を確認する		
7	血液検査について (6)	血液塗抹検査について (1)		
8	血液検査について (7)	血液塗抹検査について (2)		
9	血液検査について (8)	血液塗抹検査について (3)		
10	血液検査について (9)	血液凝固系検査について (1)		
11	血液検査について (10)	血液凝固系検査について (2)		
12	血液検査について (11)	塗抹検査・凝固系検査についての理解度を確認する		
13	血液検査について (12)	生化学検査項目について (1)		
14	血液検査について (13)	生化学検査項目について (2)		
15	血液検査について (14)	生化学検査項目について (3)		
16	試験	筆記試験		
17	まとめ	試験の解説		
18	まとめ	症例検討		
19	まとめ	症例検討		
20	まとめ	症例検討		

専門科目	講義	動物美容学(器具演習)	1学年	前後期
目的及び留意点	グルーミングの基本、各犬種のトリミングに必要な技法を細部にわたって学ぶ。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	ドッググルーマー・最新犬種スタンダード図鑑			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	シーズーのペットクリップ (1)	シーズーのペットクリップのビデオ鑑賞		
2	シーズーのペットクリップ (2)	ペットクリップ説明		
3	シーズーのペットクリップ (3)	ペットクリップ説明		
4	シーズーのペットクリップ (4)	ペットクリップ説明		
5	マルチーズ (1)	マルチーズのペットクリップのビデオ鑑賞		
6	マルチーズ (2)	マルチーズのトリミング方法		
7	マルチーズ (3)	マルチーズのトリミング方法		
8	マルチーズ (4)	マルチーズのトリミング方法		
9	ヨークシャー・テリア (1)	ヨークシャー・テリアのトリミング方法		
10	ヨークシャー・テリア (2)	ヨークシャー・テリアのトリミング方法		
11	ヨークシャー・テリア (3)	ヨークシャー・テリアのトリミング方法		
12	プードルのラムクリップ (1)	ラムクリップのビデオ鑑賞		
13	プードルのラムクリップ (2)	ラムクリップ (カット) 説明		
14	プードルのラムクリップ (3)	ラムクリップ (カット) 説明		
15	プードルのラムクリップ (4)	ラムクリップ (カット) 説明		
16	テディベア (1)	テディベアのペットクリップのビデオ鑑賞		
17	テディベア (2)	ペットクリップ説明		
18	定期試験	前期定期試験		
19	試験解説	前期定期試験解説		
20	総括	前期まとめ		
後 期 (1時間)				
週	教程	教程内容		
1	プードルのラムクリップ	ラムクリップ (カット) 復習		
2	ミニチュア・シュナウザー (1)	ミニチュア・シュナウザーのビデオ鑑賞		
3	ミニチュア・シュナウザー (2)	ミニチュア・シュナウザーのトリミング方法		
4	ミニチュア・シュナウザー (3)	ミニチュア・シュナウザーのトリミング方法		
5	ミニチュア・シュナウザー (4)	ミニチュア・シュナウザーのトリミング方法		
6	アメリカン・コッカー・スパニエル (1)	A・コッカーのトリミングのビデオ鑑賞		
7	アメリカン・コッカー・スパニエル (2)	A・コッカーのトリミング方法		
8	アメリカン・コッカー・スパニエル (3)	A・コッカーのトリミング方法		
9	アメリカン・コッカー・スパニエル (4)	A・コッカーのトリミング方法		
10	小テスト (1)	復習テスト		
11	ウェスト・ハイランド・ホワイトテリア (1)	ウェスティのトリミングのビデオ鑑賞		
12	ウェスト・ハイランド・ホワイトテリア (2)	ウェスティのトリミング方法		
13	ウェスト・ハイランド・ホワイトテリア (3)	ウェスティのトリミング方法		
14	ウェスト・ハイランド・ホワイトテリア (4)	ウェスティのトリミング方法		
15	プードルのマイアミクリップ (1)	マイアミクリップのビデオ鑑賞		
16	プードルのマイアミクリップ (2)	マイアミクリップ (カット) 説明		
17	プードルのマイアミクリップ (3)	マイアミクリップ (カット) 説明		
18	定期試験	後期定期試験		
19	試験解説	後期定期試験解説		
20	総括	後期まとめ		

実習科目	実習	コミュニケーショントレーニング	1学年	前後期
目的及び留意点	実社会で必須な話す・聴く・書くなどコミュニケーション技術の基礎を身につけ、身だしなみやふるまいを含めた飼主対応やスタッフ間での接し方を学ぶ。カルテをはじめとした情報の記録・管理、電話対応、会計業務などの院内業務について習得する。			
評価方法	筆記試験・課題提出			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	コミュニケーション概論①	自己紹介と価値観		
2	コミュニケーション概論②	感情と価値観		
3	コミュニケーション概論③	思いこみとコミュニケーションの関係		
4	コミュニケーション概論④	コミュニケーションとは何か？		
5	コミュニケーション概論⑤	コミュニケーションの必要性		
6	人間の心理を知る①	性差による違い		
7	人間の心理を知る②	脳の仕組みと機能		
8	人間の心理を知る③	自分の行動パターンを知る		
9	人間の心理を知る④	相手の行動パターンを知る		
10	ホスピタリティについて①	礼儀（マナー）の重要性		
11	ホスピタリティについて②	言葉と身だしなみ		
12	ホスピタリティについて③	年代別の対応について		
13	コミュニケーションの方法を探る①	書くことについて		
14	コミュニケーションの方法を探る②	話すことについて		
15	コミュニケーションの方法を探る③	聴くことについて		
16	社会人としての在り方を考える①	協働するスキルを学ぶ①		
17	社会人としての在り方を考える②	協働するスキルを学ぶ②		
18	社会人としての在り方を考える③	協働するスキルを学ぶ③		
19	相手の気持ちを受け入れる①	クライアントエデュケーション①		
20	相手の気持ちを受け入れる②	クライアントエデュケーション②まとめ		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	カルテについて①	カルテと何か、取り扱い		
2	カルテについて②	マスターシートと問診表①		
3	カルテについて③	マスターシートと問診表②		
4	受付対応①	初診患者対応		
5	受付対応②	初診患者対応の実践		
6	POMR①	POMR①		
7	POMR②	POMR②		
8	SOAP	SOAP		
9	カルテ用語①	動物病院で用いられるカルテ用語①		
10	カルテ用語②	動物病院で用いられるカルテ用語②		
11	カルテ用語③	動物病院で用いられるカルテ用語③		
12	カルテ用語④	動物病院で用いられるカルテ用語④		
13	カルテ記入①	カルテ記入の実践①		
14	カルテ記入②	カルテ記入の実践②		
15	問診①	問診について		
16	問診②	問診の実践		
17	問診③	疾患別の問診		
18	試験	筆記試験		
19	試験	実技試験		
20	試験	試験振り返り		

実習科目	実習	動物美容実習	1学年	前後期
目的及び留意点	トリミングする際の器具使用方法と安全性グルーミングを演習を通じて学ぶ。			
評価方法	実技試験			
テキスト	ドッググルーマー			
指 導 内 容				
前 期 (5時限)				
週	教程	教程内容		
1	スタンダード (1)	2人に1頭 (鋏を使う前の段階まで)		
2	スタンダード (2)	2人に1頭 (鋏を使う前の段階まで)		
3	スタンダード (3)	2人に1頭 (鋏を使う前の段階まで)		
4	スタンダード (4)	2人に1頭 (鋏を使う前の段階まで)		
5	スタンダード (5)	2人に1頭 (鋏を使う前の段階まで)		
6	グルーミング (1)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
7	グルーミング (2)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
8	グルーミング (3)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
9	グルーミング (4)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
10	グルーミング (5)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
11	グルーミング (6)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
12	グルーミング (7)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
13	グルーミング (8)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
14	グルーミング (9)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
15	グルーミング (10)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
16	グルーミング (11)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
17	グルーミング (12)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
18	グルーミング (13)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
19	グルーミング (14)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
20	グルーミング (15)	2人に1頭 (鋏を合格した人からカット開始)		
後 期 (5時限)				
週	教程	教程内容		
1	グルーミング (1)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
2	グルーミング (2)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
3	グルーミング (3)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
4	グルーミング (4)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
5	グルーミング (5)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
6	グルーミング (6)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
7	グルーミング (7)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
8	グルーミング (8)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
9	グルーミング (9)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
10	グルーミング (10)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
11	グルーミング (11)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
12	グルーミング (12)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
13	グルーミング (13)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
14	グルーミング (14)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
15	グルーミング (15)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
16	グルーミング (16)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
17	グルーミング (17)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
18	グルーミング (18)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
19	グルーミング (19)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
20	グルーミング (20)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		

実習科目	実習	動物内科看護学実習	1学年	前後期
目的及び留意点	動物看護師の基本的役割を把握し、またその技術を身に付ける。様々な状況における動物への接し方、扱い方に留意する。			
評価方法	筆記試験・実技試験			
テキスト	コンパニオンアニマルの看護技術学			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	動物看護師の役割、保定と抱き方	動物看護師の役割とは・保定とバリケンから出す		
2	保定	犬座位、立位、伏臥位・体重測定		
3	一般身体検査	TPR、保定の復習		
4	動物の観察1、一般状態の把握	口腔内、可視粘膜などの観察・BCS・聴診器		
5	動物の観察2、視診・触診する	リンパ節の触診、横臥位・仰臥位		
6	レントゲン検査	レントゲンの基礎知識と準備		
7	心電図・超音波検査とは	心電図・超音波検査の基礎知識と準備		
8	動物の観察3、耳	耳の構造、耳道検査の保定、耳道洗浄の仕方		
9	動物の観察4、眼	眼の構造、眼検査の保定、シルマーティアテストなど		
10	注射薬	注射薬の種類と準備		
11	投薬法	薬の形状と投薬時間、投薬方法		
12	総括・試験概要	保定総復習・試験概要		
13	試験	実技試験と筆記試験		
14	実技復習	保定法復習		
15	実技復習	身体検査を行う(触診・聴診・視診)		
16	実技復習	注射法復習		
17	まとめ	看護実習まとめ1		
18	まとめ	看護実習まとめ2		
19	まとめ	看護実習まとめ3		
20	まとめ	看護実習まとめ4		
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	保定	前期の復習		
2	採血と静脈注射1	採血部位の名称と保定		
3	採血と静脈注射2	採血の準備と分注の仕方、採血の実施		
4	採血と静脈注射3	採血の保定、採血の実施		
5	採血と静脈注射4	採血の保定、採血の実施		
6	静脈内カテーテル1	静脈内カテーテルの準備と保定		
7	静脈内カテーテル2	静脈内カテーテルの設置		
8	静脈内カテーテル3	静脈内カテーテルの設置		
9	静脈内カテーテル4	静脈内カテーテルの設置		
10	輸液	輸液ポンプの使い方		
11	猫の保定	猫の採血保定		
12	大型犬の保定	大型犬の保定		
13	試験	筆記試験と実技試験		
14	実技復習	採血の保定復習		
15	実技復習	義手を用いた採血		
16	実技復習	義手を用いた留置		
17	まとめ	看護実習まとめ1		
18	まとめ	看護実習まとめ2		
19	まとめ	看護実習まとめ3		
20	まとめ	看護実習まとめ4		

実習科目	実習	動物臨床検査学実習	1学年	前後期
目的及び留意点	血液検査・糞便検査・尿検査などの診断へと導く重要な検査についての意義を理解し、技術を習得する。			
評価方法	筆記試験・実技試験			
テキスト	コンパニオンアニマルの看護技術学・犬と猫の臨床検査マスターブック			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	遠心分離器について	遠心分離器の名称・操作方法・メンテナンスについて		
2	屈折計について	屈折計の名称・操作方法・メンテナンスについて		
3	顕微鏡について	顕微鏡の名称・鏡検条件について		
4	顕微鏡について	操作方法・メンテナンスについて		
5	小テスト	適切な扱いについての理解度を確認する		
6	糞便検査について (1)	物理学的性状検査		
7	糞便検査について (2)	直接塗抹法・集卵法 (浮遊法) について		
8	糞便検査について (3)	集卵法 (ホルマリン・エーテル法) について		
9	糞便検査について (4)	免疫学的検査について		
10	小テスト	糞便検査の意義と手技についての理解度を確認する		
11	尿検査について (1)	物理学的性状検査		
12	尿検査について (2)	化学的検査		
13	尿検査について (3)	顕微鏡学的検査		
14	小テスト	尿検査の意義と手技についての理解度を確認する		
15	テスト	実技試験		
16	テスト	筆記試験		
17	まとめ (1)	糞便検査・尿検査のまとめ		
18	まとめ (2)	糞便検査・尿検査のまとめ		
19	まとめ (3)	症例検討		
20	まとめ (4)	症例検討		
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	血液検査について (1)	CBC検査について (1)		
2	血液検査について (2)	CBC検査について (2)		
3	血液検査について (3)	ヘマトクリット管検査方法について (1)		
4	小テスト	適切な扱いについての理解度を確認する		
5	血液検査について (4)	血液塗抹検査について (1)		
6	血液検査について (5)	血液塗抹検査について (2)		
7	血液検査について (6)	血液塗抹検査について (3)		
8	小テスト	適切な扱いについての理解度を確認する		
9	血液検査について (7)	生化学検査について (2)		
10	血液検査について (8)	生化学検査について (3)		
11	血液検査について (9)	生化学検査について (4)		
12	血液検査について (10)	生化学検査について (5)		
13	血液検査まとめ (1)	一連の検査方法について復習		
14	血液検査まとめ (2)	一連の検査方法について復習		
15	血液検査まとめ (3)	一連の検査方法について復習		
16	テスト	実技試験		
17	テスト	筆記試験		
18	まとめ (1)	臨床検査のまとめ (1)		
19	まとめ (2)	臨床検査のまとめ (2)		
20	まとめ (3)	臨床検査のまとめ (3)		

専門科目	講義	動物薬理学	2学年	前後期
目的及 留意点	動物看護に必要な薬物の基本的知識を身につけ、薬物各論を中心に学習する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	動物薬理学総論 1	薬とは、医薬品情報の収集		
2	動物薬理学総論 2	薬の剤形・取扱い・投与方法、ADME、DDS		
3	処方と調剤	処方について、調剤について		
4	自律神経作用薬 1	自律神経作用薬とは、副交感神経興奮薬		
5	自律神経作用薬 2	副交感神経遮断薬、交感神経興奮薬		
6	自律神経作用薬 3	交感神経遮断薬		
7	体性神経作用薬	体性神経作用薬とは、局所麻酔薬、筋弛緩薬		
8	中枢神経系作用薬 1	中枢神経作用薬とは、全身麻酔薬		
9	中枢神経系作用薬 2	鎮静・催眠薬、向精神薬		
10	中枢神経系作用薬 3	抗痙攣薬、鎮痛薬、大脳皮質興奮薬		
11	抗炎症薬	NSAIDs、ステロイド系抗炎症薬		
12	心・血管系作用薬 1	心不全治療薬		
13	心・血管系作用薬 2	不整脈治療薬		
14	心・血管系作用薬 3	血圧作用薬		
15	血液作用薬	貧血治療薬、抗血栓薬、止血薬		
16	試験	筆記試験		
17	試験	試験の解説		
18	まとめ	前期の復習		
19	まとめ	前期の復習		
20	まとめ	症例検討		
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	抗菌薬・抗ウイルス薬 1	抗菌薬の選択		
2	抗菌薬・抗ウイルス薬 2	抗菌薬の種類と特徴 1		
3	抗菌薬・抗ウイルス薬 3	抗菌薬の種類と特徴 2、抗ウイルス薬		
4	抗真菌薬	抗真菌薬の種類と特徴		
5	寄生虫感染症予防・治療薬	寄生虫感染症予防治療薬の種類と特徴		
6	消化器系作用薬 1	消化性潰瘍治療薬		
7	消化器系作用薬 2	消化管運動吸収調節薬		
8	消化器系作用薬 3	制吐薬及び催吐薬、その他消化器作用薬		
9	呼吸器系作用薬	呼吸興奮薬、鎮咳薬、気管支拡張薬、去痰薬		
10	泌尿器系作用薬	利尿薬、排尿障害治療薬、頻尿治療薬		
11	内分泌・代謝系薬	副腎皮質疾患治療薬、甲状腺疾患治療薬、糖尿病薬		
12	眼科疾患治療薬	白内障治療薬、緑内障治療薬		
13	毒物と解毒薬 1	毒物の種類、吸収阻害、吸収遅延		
14	毒物と解毒薬 2	毒物の種類、吸収阻害、吸収遅延		
15	試験	試験		
16	試験	試験の解説		
17	漢方薬 1	東洋医学の考え方		
18	漢方薬 2	東洋医学の考え方		
19	漢方薬 3	漢方薬の種類と用途		
20	漢方薬 4	漢方薬の種類と用途		

専門科目	講義	動物外科看護学	2学年	前期
目的及び留意点	心肺蘇生法（CPR法）に関連した救急時の動物の評価、蘇生法、モニタリング、救急薬物について習得する。各救急疾患の原因・症状・治療と処置について学習する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
前 期（1時限）				
週	教程	教程内容		
1	動物モニター	救急救命処置必要性の評価について		
2	エマージェンシー（1）	トリアージについて		
3	エマージェンシー（2）	気道確保～呼吸管理について		
4	エマージェンシー（3）	心肺停止と心肺蘇生法について（1）		
5	エマージェンシー（4）	心肺停止と心肺蘇生法について（2）		
6	エマージェンシー（5）	心肺停止と心肺蘇生法について（3）		
7	エマージェンシー（6）	救急薬品について（1）		
8	エマージェンシー（7）	救急薬品について（2）		
9	エマージェンシー（8）	除細動と心電図について		
10	エマージェンシー（9）	モニタリングについて		
11	小まとめ	これまでのまとめ		
12	エマージェンシー（10）	救急時の輸液療法について（1）		
13	エマージェンシー（11）	処置方法のまとめ		
14	エマージェンシー（12）	外傷エマージェンシー		
15	エマージェンシー（13）	外傷エマージェンシー		
16	エマージェンシー（14）	眼科エマージェンシー		
17	エマージェンシー（15）	中毒エマージェンシー		
18	エマージェンシー（16）	循環器エマージェンシー		
19	まとめ	救急救命のまとめ		
20	まとめ	救急救命のまとめ		

専門科目	講義	動物臨床看護学各論	2学年	前後期
目的及び留意点	獣医師の診断法と治療方針のもとで動物の補助や飼い主を支える専門職として必要な知識を学習する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	循環器疾患①	心不全		
2	循環器疾患②	弁膜症、心筋症		
3	循環器疾患③	先天性心疾患		
4	循環器疾患④	不整脈		
5	泌尿器疾患①	腎不全		
6	泌尿器疾患②	尿路結石症、膀胱炎、猫下部尿路疾患		
7	泌尿器疾患③	異所性尿管、尿崩症、ネフローゼ症候群		
8	内分泌疾患①	糖尿病		
9	内分泌疾患②	甲状腺疾患、上皮小体疾患		
10	内分泌疾患③	副腎疾患		
11	皮膚疾患①	膿皮症、薬浴		
12	皮膚疾患②	真菌性皮膚炎、寄生虫性皮膚炎		
13	皮膚疾患③	アレルギー性皮膚炎		
14	皮膚疾患④	アレルギー性皮膚炎		
15	試験	筆記試験		
16	試験	試験の解説		
17	まとめ	前期の復習		
18	まとめ	前期の復習		
19	まとめ	症例検討		
20	総括			
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	感覚器疾患①	結膜炎、角膜潰瘍、乾性角結膜炎、異所性睫毛、ブドウ膜炎、網膜剥離		
2	感覚器疾患②	白内障、緑内障		
3	感覚器疾患③	外耳炎、耳血腫		
4	血液疾患①	免疫介在性血小板減少症、播種性血管内凝固、フォンビルブランド病		
5	血液疾患②	再生成貧血、非再生性貧血		
6	血液疾患③	リンパ腫、白血病		
7	神経疾患①	てんかん		
8	神経疾患②	水頭症、髄膜炎、キアリ奇形		
9	神経疾患③	椎間板ヘルニア、環椎軸椎不安定症、脊髄空洞症、馬尾症候群		
10	神経疾患④	前庭疾患、重症筋無力症、ニューロパチー		
11	腫瘍疾患①	独立細胞腫		
12	腫瘍疾患②	上皮系腫瘍、非上皮系腫瘍		
13	復習			
14	試験	筆記試験		
15	試験	試験の解説		
16	試験	試験の解説		
17	まとめ	症例検討		
18	まとめ	症例検討		
19	まとめ	症例検討		
20	総括			

専門科目	講義	動物感染症学	2学年	前後期
目的及び留意点	2年次では主として犬,猫の感染症の講義とズーノーシスについての講義。またその時点で話題あるいは問題となっている疾病(例えばトリインフルエンザなど)についての、適宜解説を試みる。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2日時限)				
週	教程	教程内容		
1	感染症とは	感染のメカニズム		
2	感染症の種類1	伝染病・非伝染病・流行		
3	感染症の種類2	様々な種類の感染		
4	感染が成り立つには1	感染の成立する要因		
5	感染が成り立つには2	感染伝播形式		
6	感染が成り立つには3	感染防御能		
7	微生物とは	微生物の定義		
8	病原微生物とは	病原性微生物とは		
9	生ワクチンと不活化ワクチン	生ワクチンと不活化ワクチンの比較		
10	ワクチネーションとは	ワクチネーションとは・ワクチンプログラム		
11	コアワクチンとノンコアワクチン	コアワクチンとノンコアワクチン		
12	犬猫のコアワクチン	コアワクチンに含まれる感染症		
13	犬猫のノンコアワクチン	ノンコアワクチンに含まれる感染症		
14	ワクチンで予防できる感染症	イヌのワクチンで予防できる感染症(1)		
15	ワクチンで予防できる感染症	ネコのワクチンで予防できる感染症(1)		
16	イヌ・ネコの細菌感染症1	細菌が病原体の感染症		
17	イヌ・ネコの細菌感染症2	細菌が病原体の感染症		
18	真菌1	形態と増殖形式		
19	真菌2	主な病原体真菌と検査方法		
20	イヌ・ネコの主な真菌感染症1	真菌が病原体の感染症		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	イヌ・ネコの主な真菌感染症2	真菌が病原体の感染症		
2	原虫	分類と増殖形式		
3	イヌ・ネコの原虫感染症1	原虫が病原体の感染症		
4	イヌ・ネコの原虫感染症2	原虫が病原体の感染症		
5	実験動物の代表的な感染症	腎症候性出血熱、センダイウイルス、肺マイコプラズマ病 など		
6	イヌのウイルス感染症	ウイルスが病原体の感染症		
7	イヌのウイルス感染症	ウイルスが病原体の感染症		
8	ネコのウイルス感染症	ウイルスが病原体の感染症		
9	ネコのウイルス感染症	ウイルスが病原体の感染症		
10	主な人獣共通感染症	ウイルスが病原体の人獣共通感染症		
11	主な人獣共通感染症	ウイルスが病原体の人獣共通感染症		
12	主な人獣共通感染症	細菌が病原体の人獣共通感染症		
13	主な人獣共通感染症	細菌が病原体の人獣共通感染症		
14	主な人獣共通感染症	真菌が病原体の人獣共通感染症		
15	主な人獣共通感染症	真菌が病原体の人獣共通感染症		
16	主な人獣共通感染症	原虫が原因の人獣共通感染症		
17	主な人獣共通感染症	原虫が原因の人獣共通感染症		
18	主な人獣共通感染症	畜産に問題視されている人獣共通感染症		
19	主な人獣共通感染症	畜産に問題視されている人獣共通感染症		
20	主な人獣共通感染症	畜産に問題視されている人獣共通感染症		

専門科目	講義	公衆衛生学	2学年	前期
目的及び留意点	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防の応用について理解する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	公衆衛生とは	1年次の復習		
2	環境衛生について(1)	環境衛生とは何か		
3	環境衛生について(2)	動物の飼養に伴う環境の汚染対策		
4	食品衛生について(1)	食品の安全性確保		
5	食品衛生について(2)	食品を介す人獣共通感染症について		
6	食品衛生について(3)	食品を介す人獣共通感染症について		
7	食品衛生について(4)	食品を介す人獣共通感染症について		
8	食品衛生について(5)	農場HACCP		
9	食品衛生について(6)	GLP・GMP		
10	食中毒対策(1)	食中毒とは何か		
11	食中毒対策(2)	食中毒発生状況		
12	食中毒対策(3)	食中毒の予防方法		
13	疫学について(1)	疫学とは		
14	疫学について(2)	疫学の指標		
15	疫学について(3)	サーベイランス		
16	薬剤耐性(1)	薬剤耐性とは		
17	薬剤耐性(2)	薬剤耐性の獲得		
18	薬剤耐性(3)	医学上の課題		
19	薬剤耐性(4)	対策		
20	まとめ	まとめ		

専門科目	講義	動物臨床栄養学	2学年	前後期
目的及び留意点	1学年で学んだ総論を基に、各疾患による栄養学的管理を学び、その療法食の特性を理解する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	犬と猫の栄養学			
前期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	ペットフードとは	歴史、製造方法、規制		
2	ペットフードとは？	分類と目的		
3	ペットフードとは？	ラベルを読む：主要表示パネル		
4	ペットフードとは？	ラベルを読む：情報表示パネル		
5	ペットフードとは？	使用原材料と添加物		
6	ペットフードとは？	代謝エネルギー、給与量、コストパフォーマンス		
7	ペットフードの比較	商品比較 総合栄養食 vs. 一般食		
8	ペットフードの比較	商品比較 犬用 vs. 猫用		
9	ペットフードの比較	商品比較 ドライフード vs. ウエットフード		
10	繁殖期の栄養管理	妊娠、授乳期の栄養要求と食事の与え方		
11	成長期の栄養管理	成長期の栄養要求と食事の与え方		
12	高齢期の栄養管理	高齢期の栄養要求と注意点		
13	ライフステージに違いによるペットフード	商品比較と違いの理解		
14	総括	練習問題		
15	試験	試験		
16	試験解説	試験解説		
17	まとめ①	まとめ①		
18	まとめ②	まとめ②		
19	症例検討①	症例検討①		
20	症例検討②	症例検討②		
後期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	各論：食物アレルギー	食物アレルギーの原因と症状・仕組みと検査方法		
2	各論：食物アレルギー	食物アレルギーの食事管理		
3	各論：関節炎	関節炎の食事管理		
4	各論：がん①	QOLの維持・快適な食生活を送る		
5	各論：がん②	QOLの維持・快適な食生活を送る		
6	各論：脳の加齢と認知障害	脳の加齢による行動異常と機能低下		
7	各論：脳の加齢と認知障害	老化のメカニズム・フリーラジカルについて		
8	各論：肥満	肥満の原因・客観的な判定方法		
9	各論：肥満	BSC評価		
10	各論：甲状腺機能亢進症	QOLの維持・快適な食生活を送る		
11	各論：甲状腺機能亢進症	QOLの維持・快適な食生活を送る		
12	ペットフード市場	ペットフード販売と市場の考察・嗜好性を考える		
13	試験	試験		
14	ペットフードに関する規則のまとめ①	ペットフード安全法		
15	ペットフードに関する規則のまとめ②	ペットフード安全法		
16	症例検討①	症例検討①		
17	症例検討②	症例検討②		
18	前期総復習①	前期総復習①		
19	前期総復習②	前期総復習②		
20	まとめ	まとめ		

専門科目	講義	動物関連法令	2学年	前後期
目的及び留意点	動物看護師の仕事についてより理解し、関係法令を学ぶ事で実践に活かせる知識を身につける。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	法律の概念	法律と政令、省令と条例の趣旨や違い、改廃について		
2	動物看護師を取り巻く法律	獣医事、薬事、環境、自然保護、民法等の概要について		
3	動物看護師の職域に関する法律	獣医師と動物看護師の職務について		
4	獣医事行政法規①	獣医師法①		
5	獣医事行政法規②	獣医師法②		
6	獣医事行政法規③	獣医療法①		
7	獣医事行政法規④	獣医療法②		
8	家畜衛生行政法規①	家畜伝染病予防法①		
9	家畜衛生行政法規②	家畜伝染病予防法②		
10	家畜衛生行政法規③	ペットフード安全法		
11	家畜衛生行政法規④	ペットフード安全法		
12	薬事行政法規①	医薬遺品医療機器等①		
13	薬事行政法規②	医薬遺品医療機器等②		
14	試験	試験		
15	公衆衛生行政法規①	狂犬病予防法①		
16	公衆衛生行政法規②	狂犬病予防法②		
17	公衆衛生行政法規③	身体障害者補助犬法①		
18	公衆衛生行政法規④	身体障害者補助犬法②		
19	公衆衛生行政法規⑤	身体障害者補助犬法③		
20	公衆衛生行政法規⑥	と畜場法		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	環境行政関連法規①	動物愛護管理法①		
2	環境行政関連法規②	動物愛護管理法②		
3	環境行政関連法規③	外来生物法①		
4	環境行政関連法規④	外来生物法②		
5	環境行政関連法規⑤	種の保存法①		
6	環境行政関連法規⑥	種の保存法②		
7	環境行政関連法規⑦	鳥獣保護法①		
8	環境行政関連法規⑧	鳥獣保護法②		
9	環境行政関連法規⑨	ワシントン条約		
10	環境行政関連法規⑩	ラムサール条約		
11	環境行政関連法規⑪	廃棄物処理法		
12	試験	試験		
13	試験解説	試験解説		
14	総まとめ①	前期内容の総まとめ①		
15	総まとめ②	前期内容の総まとめ②		
16	民法①	民法における契約などの生活関連法規について		
17	民法②	各種申請業務、契約業務に関する法律について		
18	動物看護師のための法律①	獣医療技術者としての動物看護師の位置づけ		
19	動物看護師のための法律②	動物看護師の実際の業務と法律の関係		
20	総まとめ	後期内容の総まとめ		

専門科目	講義	動物繁殖学	2学年	前後期
目的及び留意点	動物の発情、交配、妊娠、出産、産後の管理などを、犬や猫を中心に動物ごとに比較しながら学ぶ。また、繁殖上の疾病とその予防法及び治療法について理解する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	繁殖生理	繁殖生理とは		
2	生殖器と生殖	雌雄の生殖器の構造と機能		
3	生殖器と生殖	雌雄の生殖器の構造と機能、生殖		
4	生殖器と生殖	雌雄の生殖器の構造と機能、生殖		
5	生殖器と生殖	雌雄の生殖器の構造と機能、生殖		
6	生殖器と生殖	雌雄の生殖器の構造と機能、生殖		
7	ホルモン	ホルモン総論		
8	ホルモン	ホルモン総論		
9	ホルモン	生殖に関するホルモンの作用		
10	ホルモン	生殖に関するホルモンの作用		
11	まとめ	確認テスト①		
12	まとめ	解答と振り返り		
13	性成熟	雌の性成熟		
14	性成熟	雌の生殖周期		
15	イヌの交配適期と交配	雌イヌの交配適期		
16	イヌの交配適期と交配	雌イヌの交配方法		
17	ネコの交配適期と交配	雌ネコの交配適期		
18	ネコの交配適期と交配	雌ネコの交配方法		
19	まとめ	確認テスト②		
20	まとめ			
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	受精～妊娠	イヌの妊娠と妊娠診断法		
2	受精～妊娠	イヌの妊娠と妊娠診断法		
3	受精～妊娠	イヌの妊娠と妊娠診断法		
4	出産	分娩徴候と分娩の経過		
5	出産	分娩徴候と分娩の経過		
6	出産介助と新生児管理	助産と新生子の管理		
7	出産介助と新生児管理	助産と新生子の管理		
8	出産介助と新生児管理	難産について		
9	出産介助と新生児管理	難産について		
10	まとめ	確認テスト		
11	繁殖の人為的支配	人工授精、発情誘起方法		
12	繁殖の人為的支配	人工授精、発情誘起方法		
13	繁殖の人為的支配	雌雄の避妊方法		
14	繁殖の人為的支配	雌雄の避妊方法		
15	主要な生殖器疾患	主要な生殖器疾患と遺伝性疾患について		
16	主要な生殖器疾患	主要な生殖器疾患と遺伝性疾患について		
17	主要な生殖器疾患	主要な生殖器疾患と遺伝性疾患について		
18	主要な生殖器疾患	主要な生殖器疾患と遺伝性疾患について		
19	主要な生殖器疾患	主要な生殖器疾患と遺伝性疾患について		
20	まとめ	前期まとめ		

専門科目	講義	動物行動・動物人間関係学	2学年	前後期
目的及び留意点	特に伴侶動物である犬のしつけの重要性と方法論を学び、動物管理における行動学の重要性を知る。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	序論	人と犬との新たな関わりについて考え、行動学の重要性を知る		
2	動物行動学とは？	行動学の定義から始まり、行動発現の機構と機序を知る		
3	行動発現の機構と機序 (1)	生得的行動と習得的行動について		
4	行動発現の機構と機序 (2)	犬の成長過程と行動の発達		
5	行動発現の機構と機序 (3)	犬の成長過程と行動の発達		
6	犬の社会行動	視覚・聴覚・嗅覚をもちいた社会行動		
7	学習 (1)	馴化、古典的条件付け、オペラント条件付けについて		
8	学習 (2)	習得的行動とオペラント条件付け (行動の強化) について		
9	学習 (3)	習得的行動とオペラント条件付け (行動の弱化) について		
10	学習 (4)	習得的行動とオペラント条件付け (行動の消去) について		
11	学習 (5)	シェイピング、般化、脱感作		
12	学習 (6)	氾濫法と脱感作について		
13	小テスト			
14	行動発現の機構と機序 (4)	内的変化に伴う行動の変化について (ホルモンと行動)		
15	行動発現の機構と機序 (5)	内的変化に伴う行動の変化について (神経伝達物質と行動)		
16	家畜化による行動の変化 (1)	犬の家畜化の歴史		
17	家畜化による行動の変化 (2)	犬種の作出と犬種の行動特性について		
18	家畜化による行動の変化 (3)	犬種の作出と犬種の行動特性について		
19	個体の行動特性の違い (1)	学習、遺伝子、内的変化の違い		
20	個体の行動特性の違い (2)	学習、遺伝子、内的変化の違い		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	学習理論のトレーニングへの応用 (1)	学習理論を用いて発展的なトレーニング方法を学ぶ		
2	学習理論のトレーニングへの応用 (2)	学習理論を用いて発展的なトレーニング方法を学ぶ		
3	伴侶動物としての犬との入手・飼育方法 (1)	犬を飼育する前の心構えや飼育を開始してからの注意事項について		
4	伴侶動物としての犬との入手・飼育方法 (2)	犬を飼育する前の心構えや飼育を開始してからの注意事項について		
5	高齢犬の行動と管理方法について	成犬及び高齢犬を飼育する上での注意点としつけの重要性について		
6	小テスト			
7	猫の行動 (1)	猫が示す特徴的な行動について		
8	猫の行動 (2)	猫が示す特徴的な行動について		
9	猫の家畜化の歴史	猫が家畜化された背景及び人との関わり方について		
10	犬の問題行動について (1)	問題行動の定義およびその種類、発生原因について		
11	犬の問題行動について (2)	問題行動の定義およびその種類、発生原因について		
12	問題行動の修正方法について (1)	問題行動を改善するための方法について理解する		
13	問題行動の修正方法について (2)	問題行動を改善するための方法について理解する		
14	小テスト			
15	人と動物の関係について (1)	今後の人と動物における新たな関わり方について		
16	人と動物の関係について (2)	今後の人と動物における新たな関わり方について		
17	人と動物の関係について (3)	今後の人と動物における新たな関わり方について		
18	人と動物の関係について (4)	今後の人と動物における新たな関わり方について		
19	人と動物の関係について (5)	今後の人と動物における新たな関わり方について		
20	小テスト			

専門科目	講義	エキゾチックアニマル学	2学年	前後期
目的及び留意点	エキゾチックアニマルはイヌやネコの飼育と相違点が多くその違いを理解すること、またゾーノシスや法律も関わってくるが多いため、分かりやすく指導する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	カラーアトラスエキゾチックアニマル哺乳類編			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	エキゾチックアニマルの定義		
2	ガイダンス	エキゾチックアニマル全般について (トリ・ハリネズミなど)		
3	ガイダンス	エキゾチックアニマルの間診について		
4	ウサギ1	ウサギの生態を理解する		
5	ウサギ2	ウサギの生態を理解する		
6	ウサギ3	ウサギの検査方法・疾病を理解する		
7	ウサギ4	エキゾチックアニマルにおけるクライアントエデュケーション		
8	ウサギ5	ウサギの保定方法		
9	ウサギ6	強制給餌・保定方法の実習		
10	ハムスター1	ハムスターの生態を理解する		
11	ハムスター2	ハムスターの生態を理解する		
12	ハムスター3	ハムスターの検査方法・疾病を理解する		
13	ハムスター4	ハムスターの検査方法・疾病を理解する		
14	試験	筆記試験		
15	猛禽類1	猛禽類の生態・飼育方法		
16	猛禽類2	猛禽類の身体検査手順		
17	猛禽類3	猛禽類の疾病について		
18	復習	前期の復習		
19	まとめ	症例検討		
20	前期まとめ	前期の範囲の理解度を図る		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	入院管理	エキゾチックアニマルの入院管理		
2	入院管理	エキゾチックアニマルの入院管理		
3	モルモット1	モルモットの生態を理解する		
4	モルモット2	モルモットの検査方法・疾病を理解する		
5	モルモット3	モルモットの検査方法・疾病を理解する		
6	モルモット4	モルモット・ハムスターの保定・検査方法		
7	小鳥1	小鳥の生態を理解する		
8	小鳥2	小鳥の保定方法と身体検査の手順		
9	小鳥3	小鳥の検査方法・疾病について理解する		
10	小鳥4	野鳥について		
11	まとめ	モルモット・小鳥についての理解度を図る		
12	試験	筆記試験		
13	試験	試験解説		
14	復習	小鳥の強制給餌・疾患について		
15	まとめ	エキゾチックアニマルの関係法規について		
16	まとめ	フェレットについて		
17	症例検討	症例検討		
18	症例検討	症例検討		
19	後期まとめ	後期範囲の理解度を図る		
20	後期まとめ	後期範囲の理解度を図る		

専門科目	講義	産業動物・実験動物学	2学年	前後期
目的及 留意 点	2年次は、産業動物の各論としてブタ・ニワトリ・ウマ・綿羊・ヤギについて品種・身体・食性・飼養管理について理解する。また、主な実験動物とその利用や遺伝的統御と微生物統御についても習得する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト				
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	ブタ	家畜化の過程と品種		
2	ブタ	品種		
3	ブタ	身体と食性		
4	ブタ	身体と食性		
5	ブタ	飼養管理		
6	ブタ	飼養管理		
7	ブタ	飼養管理		
8	ブタ	飼養管理		
9	ニワトリ	家畜化の過程と品種		
10	ニワトリ	身体と食性		
11	ニワトリ	身体と食性		
12	ニワトリ	飼養管理		
13	ニワトリ	飼養管理		
14	ウマ	家畜化の目的・品種		
15	ウマ	身体と食性		
16	ウマ	飼養管理		
17	ヒツジ	家畜化の過程・品種		
18	ヒツジ	身体と食性、飼養管理		
19	ヤギ	家畜化の過程・品種		
20	ヤギ	身体と食性、飼養管理		
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	産業動物の社会との関わり	倫理的消費		
2	産業動物の社会との関わり	温暖化への対応		
3	産業動物の社会との関わり	耐性菌の問題		
4	産業動物の社会との関わり	One Welfare		
5	まとめ			
6	動物実験の理解と3R	実験動物の社会的な役割		
7	動物実験の理解と3R	3Rの原則を理解する		
8	主な実験動物とその利用	ブタ、サル		
9	主な実験動物とその利用	イヌ、ネコ		
10	主な実験動物とその利用	モルモット、ラット、マウス		
11	主な実験動物とその利用	その他の実験動物		
12	遺伝的統御と微生物学的統御	遺伝的統御と微生物学的統御		
13	実験動物の飼養管理	カンクイザルの生理、行動と社会構造		
14	実験動物の飼養管理	ラット、マウスの生理と行動		
15	実験動物の飼養管理	飼育環境、飼料・飲水、健康管理と福祉		
16	実験動物の飼養管理	保定法		
17	個体の管理と記録	個体の管理法と記録		
18	個体の管理と記録	管理者の教育		
19	復習			
20	総括			

専門科目	講義	野生動物学	2学年	後期
目的及び留意点	野生動物の生態及び保護・環境保全に関する課題と取り組みを認識する。また、展示動物の社会的な役割について考える。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	野生動物の定義	野生動物の位置づけ		
2	野生動物の現状	日本の野生動物		
3	野生動物の現状	現状と生物多様性の保全		
4	野生動物と環境保全	生態系、食物連鎖		
5	野生動物の保護に関する法律	鳥獣保護法		
6	野生動物の保護に関する法律	外来生物法		
7	野生動物の保護に関する法律	ワシントン条約		
8	野生動物の保護に関する法律	ラムサール条約		
9	野生動物の保護に関する法律	世界遺産条約、生物多様性条約		
10	日本の野生動物	ヒグマ、ツキノワグマ		
11	日本の野生動物	ニホンザル、ホンダタヌキ		
12	日本の野生動物	ニホンカモシカ		
13	日本の野生動物	ニホンリス、ニホンモモンガ、ムササビ		
14	日本の野生動物	アマミノクロウサギ、イリオモテヤマネコ		
15	日本の野生動物	外来生物		
16	負傷した野生動物の保護	負傷した野生動物の保護		
17	野生動物の飼養管理	動物福祉の配慮、飼養管理者の安全		
18	ペットとして飼養される野生動物	ペットとして飼養される野生動物		
19	まとめ			
20	まとめ			

専門科目	講義	動物臨床検査学	2学年	前期
目的及び留意点	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント・コンパニオンアニマルの看護技術学・犬と猫の臨床検査マスターブック			
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教程	教程内容		
1	血液（1）	検査の目的		
2	血液（2）	赤血球 正常		
3	血液（3）	赤血球 異常		
4	血液（4）	赤血球 貧血		
5	血液（5）	白血球 正常		
6	血液（6）	血小板		
7	生化学検査（1）	スクリーニング検査について		
8	生化学検査（2）	血漿蛋白		
9	生化学検査（3）	腎臓パネル		
10	生化学検査（4）	肝臓パネル		
11	生化学検査（5）	胆嚢パネル		
12	生化学検査（6）	副腎		
13	生化学検査（7）	電解質		
14	ホルモン検査（1）	甲状腺ホルモン		
15	ホルモン検査（2）	副腎皮質ホルモン		
16	ホルモン検査（3）	その他のホルモン検査		
17	細胞診（1）	病理検査について		
18	細胞診（2）	検体処理法と注意点		
19	まとめ	まとめ		
20	まとめ	まとめ		

実習科目	実習	コミュニケーショントレーニング	2学年	前後期
目的及び留意点	動物看護師の院内業務を実践的に学ぶ。またロールプレイングをとおし、患者の立場にたった接遇・飼い主が分かりやすいようなクライアントエデュケーションを学ぶ。			
評価方法	実技試験・課題提出			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	飼い主のお迎え 1	診察受付・問診票・同意書とは何か		
2	飼い主のお迎え 2	自然な対応を身に付ける		
3	飼い主のお迎え 3	飼い主の立場から対応を考える		
4	飼い主のお迎え 4	実践トレーニング		
5	実技試験 1	受付：実技試験		
6	診察室への案内	看護動物の安全を意識した案内		
7	薬の説明 1	薬の説明業務にかかる責任		
8	薬の説明 2	相手に合わせた説明		
9	清算業務 1	金銭の社会的意味と扱いを知る		
10	清算業務 2	相手の動きに合わせて行動する		
11	実技試験 2	薬の説明、清算業務：実技試験		
12	質問と傾聴 1	基礎的な質問項目の認識、傾聴の姿勢		
13	質問と傾聴 2	相手に合わせた話の誘導		
14	注目される掲示物を考える	待合室の工夫		
15	注目される掲示物を考える	待合室の工夫		
16	電話対応 1	電話対応マナー		
17	電話対応 2	シチュエーション別の対応		
18	電話でのクレーム対応	相手の気持ちを読み取る		
19	実技試験 3	電話対応：実技試験		
20	実技振り返り	自己評価の確認		
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	不快感情の飼い主さんへの対応	相手の話を落ち着いて聞く、内容を読み解く		
2	不快感情の飼い主さんへの対応	相手の話を落ち着いて聞く、内容を読み解く		
3	不快感情の飼い主さんへの対応	場面に応じたクレーム対応		
4	緊急時の対応	緊急の電話を受けた場合の対応		
5	緊急時の対応	緊急の患者が来院された時の対応		
6	深刻な場合での対応：訃報時	飼い主の感情をくむ		
7	深刻な場合での対応：診察時、面会時	診察中・面会中の飼い主への配慮		
8	ペットロスとその対応	グリーフケアとは		
9	ペットロスとその対応	亡くなった動物のケア、飼い主のお見送り		
10	飼い主のお迎え（応用） 1	復習		
11	飼い主のお迎え（応用） 2	様々な飼い主の状況から対応方法を変える		
12	薬の説明（応用） 1	復習		
13	薬の説明（応用） 2	様々な飼い主の状況から対応方法を変える		
14	待合室管理 1	カウンターワークの考え方		
15	待合室管理 2	カウンターワークの考え方		
16	実技試験 4	グループワーク		
17	電話対応（応用） 1	復習		
18	電話対応（応用） 2	初診飼い主からの問い合わせ		
19	電話対応（応用） 3	受付対応中にかかってきた電話への配慮		
20	実技試験 5	電話対応：実技試験		

実習科目	実習	動物行動実習	2学年	前後期
目的及び留意点	動物の管理方法、特に伴侶動物である犬のしつけの重要性と実践方法を学び、犬の飼育におけるしつけの重要性を知る。			
評価方法	実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	担当犬と対面する	今後担当する犬とコミュニケーションを図る		
2	犬の表現方法を知る	犬と接しながら担当の犬の性格を観察する		
3	犬の行動を観察する	犬と接しながら犬の基本的な行動を観察する		
4	犬のコミュニケーション方法を知る	他の犬や人とのコミュニケーション方法を知る		
5	犬の強化子を見つける (1)	担当犬が好むものを観察する		
6	犬の強化子を見つける (2)	担当犬が好むものを観察する (その時の犬の表現方法を観察)		
7	コマンドの学習 (1)	コマンドを学習させる方法について習得する		
8	コマンドの学習 (2)	座れ を教える		
9	コマンドの学習 (3)	待て を教える		
10	コマンドの学習 (4)	座れ、伏せ、待て、呼び戻し、アイコンタクトを教える		
11	コマンドの学習 (5)	座れ、伏せ、待て、呼び戻し、アイコンタクトを教える		
12	コマンドの学習 (6)	座れ、伏せ、待て、呼び戻し、アイコンタクトを教える		
13	コマンドの学習 (7)	座れ、伏せ、待て、呼び戻し、アイコンタクトを教える		
14	実技試験			
15	コマンドの学習 (9)	座れ、伏せ、待て、呼び戻し、アイコンタクトを教える		
16	コマンドの学習 (10)	座れ、伏せ、待て、呼び戻し、アイコンタクトを教える		
17	コマンドの学習 (11)	座れ、伏せ、待て、呼び戻し、アイコンタクトを教える		
18	コマンドの消去 (1)	担当犬の困った行動を消去する		
19	コマンドの消去 (2)	担当犬の困った行動を消去する		
20	まとめ			
後 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	クリッカーを用いた発展的なトレーニング	クリッカートレーニングの方法について学ぶ		
2	発展的なトレーニング (1)	クリッカーを用いた座れ、伏せ、待て、アイコンタクトの練習		
3	発展的なトレーニング (2)	クリッカーを用いた座れ、伏せ、待て、アイコンタクトの練習		
4	発展的なトレーニング (3)	クリッカーを用いた座れ、伏せ、待て、アイコンタクトの練習		
5	発展的なトレーニング (4)	クリッカーを用いた座れ、伏せ、待て、アイコンタクトの練習		
6	散歩を想定したトレーニング (1)	ヒール、サイド、脚側歩行の練習		
7	散歩を想定したトレーニング (2)	ヒール、サイド、脚側歩行の練習		
8	散歩を想定したトレーニング (3)	ヒール、サイド、脚側歩行の練習		
9	散歩を想定したトレーニング (4)	ヒール、サイド、脚側歩行の練習		
10	散歩を想定したトレーニング (5)	ヒール、サイド、脚側歩行の練習		
11	散歩を想定したトレーニング (6)	ヒール、サイド、脚側歩行の練習		
12	実技試験			
13	その他役に立つコマンド	Leave it、Wait、Fix など		
14	その他役に立つコマンド	Leave it、Wait、Fix など		
15	その他役に立つコマンド	Leave it、Wait、Fix など		
16	その他役に立つコマンド	Leave it、Wait、Fix など		
17	その他役に立つコマンド	Leave it、Wait、Fix など		
18	コマンドを利用した遊び	いす取りゲームなどの犬との遊びを知る		
19	コマンドを利用した遊び	いす取りゲームなどの犬との遊びを知る		
20	まとめ			

実習科目	実習	動物美容実習	2学年	前後期
目的及び留意点	グルーミングの技術向上・ライセンス取得に向けカットを中心に学ぶ。			
評価方法	実技試験			
テキスト	ドッググルーマー			
指 導 内 容				
前 期 (5時限)				
週	教程	教程内容		
1	グルーミング (1)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
2	グルーミング (2)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
3	グルーミング (3)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
4	グルーミング (4)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
5	グルーミング (5)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
6	グルーミング (6)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
7	グルーミング (7)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
8	グルーミング (8)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
9	グルーミング (9)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
10	グルーミング (10)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
11	グルーミング (11)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
12	グルーミング (12)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
13	グルーミング (13)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
14	グルーミング (14)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
15	グルーミング (15)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
16	グルーミング (16)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
17	グルーミング (17)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
18	グルーミング (18)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
19	グルーミング (19)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
20	グルーミング (20)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
後 期 (5時限)				
週	教程	教程内容		
1	グルーミング (1)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
2	グルーミング (2)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
3	グルーミング (3)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
4	グルーミング (4)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
5	グルーミング (5)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
6	グルーミング (6)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
7	グルーミング (7)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
8	グルーミング (8)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
9	グルーミング (9)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
10	グルーミング (10)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
11	グルーミング (11)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
12	グルーミング (12)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
13	グルーミング (13)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
14	グルーミング (14)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
15	グルーミング (15)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
16	グルーミング (16)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
17	グルーミング (17)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
18	グルーミング (18)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
19	グルーミング (19)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
20	グルーミング (20)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		

実習科目	実習	動物形態機能学実習	2学年	前後期
目的及び留意点	犬や猫のからだを構成する骨・筋・内臓器官の位置と相関関係が立体的に理解できるようにする。			
評価方法	筆記試験・実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	超音波検査の基本	超音波検査装置の仕組み・準備～操作手順		
2	腹部の描出	腹部		
3	腹部の描出	腹部		
4	腹部の描出	腹部		
5	腹部の描出	膀胱		
6	腹部の描出	膀胱		
7	腹部の描出	膀胱		
8	腹部の描出	腎臓		
9	腹部の描出	腎臓		
10	腹部の描出	肝臓・胆嚢		
11	腹部の描出	肝臓・胆嚢		
12	腹部の描出	肝臓・胆嚢		
13	腹部の描出	肝臓・胆嚢		
14	腹部の描出	胃・脾臓		
15	腹部の描出	胃・脾臓		
16	腹部の描出	腸管		
17	心臓の描出	心臓		
18	心臓の描出	心臓		
19	心臓の描出	心臓		
20	総括			
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	骨格及び筋肉の形態と機能	関節の動きと筋の関係		
2	骨格及び筋肉の形態と機能	複数の筋や骨から構成される部位を触診する		
3	各部位・臓器の位置や関係性	頭部・頸部		
4	各部位・臓器の位置や関係性	胸部・肩・前肢		
5	各部位・臓器の位置や関係性	腹部・腰部		
6	各部位・臓器の位置や関係性	臀部・後肢・尾		
7	腫瘍臓器の組織	筋～骨格筋・心筋・平滑筋		
8	腫瘍臓器の組織	肝臓		
9	腫瘍臓器の組織	腎臓		
10	腫瘍臓器の組織	肺		
11	腫瘍臓器の組織	膵臓		
12	腫瘍臓器の組織	膀胱		
13	腫瘍臓器の組織	精巣		
14	腫瘍臓器の組織	卵巣		
15	腫瘍臓器の組織	甲状腺		
16	腫瘍臓器の組織	副腎		
17	試験			
18	試験の解説			
19	復習			
20	総括			

実習科目	実習	動物内科看護学実習	2学年	前期
目的及び留意点	臨床現場で重要となる、フィラリア検査やレントゲン検査の実際から、麻酔をかけた歯科処置、手術実習を行い実践に繋げる			
評価方法	筆記試験・実技試験			
テキスト	コンパニオンアニマルの看護技術学 プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	フィラリア検査 (1)	フィラリア検査の手順と手技		
2	フィラリア検査 (2)	フィラリア検査の手順と手技		
3	まとめ	確認テスト①		
4	調剤 (1)	医薬品の種類と薬量の計算方法		
5	調剤 (2)	内服薬と外用薬の投与方法		
6	まとめ	確認テスト②		
7	シリンジ・注射法 (1)	シリンジと針の種類と選択		
8	シリンジ・注射法 (2)	アンプルとバイアルからの吸引		
9	まとめ	確認テスト③		
10	輸液 (1)	輸液概論と留置針の設置方法		
11	輸液 (2)	輸液ラインの接続方法		
12	輸液 (3)	輸液ラインの接続方法とシリンジポンプの使用法		
13	まとめ	確認テスト④		
14	創傷管理、包帯法 (1)	創傷の分類と管理法、包帯法の手技		
15	包帯法 (2)	包帯法の手技		
16	まとめ	確認テスト⑤		
17	テスト	実地試験 / ペーパー試験		
18	レントゲン (1)	レントゲン撮影の基本について、保定法		
19	レントゲン (2)	レントゲン撮影の手技		
20	レントゲン (3)	FCR		

実習科目	実習	動物臨床検査学実習	2学年	前後期
目的及び留意点	血液検査・糞便・尿検査などの診断へと導く重要な検査についての意義を理解し、技術を習得する。			
評価方法	筆記試験・実技試験			
テキスト	コンパニオンアニマルの看護技術学・犬と猫の臨床検査マスターブック			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	血液検査 1	検体の取り扱い		
2	血液検査 2	生化学検査		
3	血液検査 3	染色法		
4	血液検査 4	網状赤血球の測定と評価		
5	血液検査 5	炎症マーカー/CRP検査		
6	血液検査 6	正常白血球のスケッチ		
7	血液検査 7	白血球異常		
8	細胞診 1	検体作成 (FNA スタンプ 搔爬)		
9	細胞診 2	染色法 腫瘍観察		
10	抗体・免疫学的検査	犬猫の感染症		
11	ミクロフィラリア検査	バフィーコート塗抹作成		
12	皮膚 1	触診 全身チェック		
13	皮膚 2	検査 搔爬・セロハンテープ法 毛検査		
14	試験	検査の効率化 筆記		
15	試験	試験の解説		
16	前期のまとめ	症例検討		
17	前期のまとめ	症例検討		
18	前期のまとめ	前期のまとめ		
19	前期のまとめ	前期のまとめ		
20	前期のまとめ	総復習		
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	輸血	輸血について/前期試験答え合わせ		
2	輸血 1	クロスマッチ		
3	輸血 2	クロスマッチ		
4	尿検査	膀胱の触診		
5	心電図 1	心電図の原理 使用法		
6	心電図 2	不整脈		
7	眼科検査	シルマーティア・フレオレセイン		
8	レントゲン	保定		
9	レントゲン	造影		
10	筆記試験/皮膚治療	シャンプー療法		
11	実技試験	クロスマッチ		
12	実技試験	筆記試験答え合わせ		
13	輸血	血液型判定/試験答え合わせ		
14	試験	試験の解説		
15	後期のまとめ	クロスマッチの復習		
16	後期のまとめ	症例検討		
17	後期のまとめ	症例検討		
18	後期のまとめ	症例検討		
19	後期のまとめ	総復習		
20	後期のまとめ	総復習		

実習科目	実習	動物外科看護学実習	2学年	前後期
目的及び留意点	外科手術に伴う滅菌消毒操作、手術器具の種類と用途、麻酔モニタリングについて習得する。術前から術後に至る周術期管理を実践し理解する。また手術や外傷で落ちた運動機能・筋力の回復を目的とするリハビリテーションの基礎を学ぶ。			
評価方法	筆記試験・実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	歯科学①	総論・歯科の評価		
2	歯科学②	歯科処置①		
3	歯科学③	歯科処置② スケーリングの流れ		
4	麻酔学①	麻酔前の評価、麻酔薬		
5	麻酔学②	麻酔管理① 麻酔器		
6	麻酔学③	麻酔管理② 導入～覚醒		
7	麻酔学④	麻酔管理③ モニタリング		
8	疼痛管理	術後管理、疼痛管理		
9	手術補助①	器具・機材		
10	手術補助②	縫合材料（縫合糸・縫合針）、縫合法		
11	手術補助③	手術助手（消毒、牽引、止血、洗浄、吸引）		
12	リハビリテーション①	総論 整形外科・神経疾患の機能回復		
13	リハビリテーション②	犬猫で有効なリハビリテーションの種類と方法		
14	リハビリテーション③	治療計画・機能評価法		
15	試験	試験		
16	試験解説	試験解説		
17	去勢手術①	去勢手術の流れ①		
18	去勢手術②	去勢手術の流れ②		
19	不妊手術①	不妊手術の流れ①		
20	不妊手術②	不妊手術の流れ②		
後 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	歯科学①	スケーリングデモンストレーション①		
2	歯科学②	スケーリングデモンストレーション②		
3	歯科学③	スケーリング実習①		
4	歯科学④	実習反省		
5	歯科学⑤	スケーリング実習②		
6	歯科学⑥	実習反省		
7	去勢手術①	去勢手術 実習①		
8	去勢手術②	去勢手術 実習②		
9	去勢手術③	実習反省		
10	不妊手術①	不妊手術 実習①		
11	不妊手術②	不妊手術 実習②		
12	不妊手術③	実習反省		
13	試験	試験		
14	試験解説	試験解説		
15	後期総括①	後期総括①		
16	前期総括①	前期総括①		
17	前期総括②	前期総括②		
18	症例検討①	症例検討①		
19	症例検討②	症例検討②		
20	まとめ	まとめ		

実習科目	実習	動物臨床看護学実習	2学年	前後期
目的及び留意点	動物臨床看護学で学んだ知識を実践する			
評価方法	筆記試験・実技試験			
テキスト	コンパニオンアニマルの看護技術学 プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1時限)				
週	教程	教程内容		
1	幼若動物の管理 (1)	イヌ・ネコ新生子の生理機能		
2	幼若動物の管理 (2)	イヌ・ネコ新生子の生理機能		
3	幼若動物の管理 (3)	イヌ・ネコ新生子のケア		
4	幼若動物の管理 (4)	イヌ・ネコ新生子のケア		
5	幼若動物の管理 (5)	新生子の管理 (環境)		
6	幼若動物の管理 (6)	新生子の管理 (哺乳・排泄)		
7	幼若動物の管理 (7)	新生子のかかりやすい疾病		
8	幼若動物の管理 (8)	新生子のかかりやすい疾病の予防・看護		
9	老齢動物の管理 (1)	老齢動物の生理機能・身体機能について		
10	老齢動物の管理 (2)	排便の管理		
11	老齢動物の管理 (3)	排便の管理		
12	老齢動物の管理 (4)	排便の管理		
13	老齢動物の管理 (5)	マッサージ		
14	老齢動物の管理 (6)	罨法		
15	老齢動物の管理 (7)	褥瘡とは		
16	老齢動物の管理 (8)	褥瘡のケア		
17	老齢動物の管理 (9)	日常の管理 (入浴)		
18	老齢動物の管理 (10)	日常の管理 (給餌)		
19	老齢動物の管理 (11)	日常の管理 (運動)		
20	総括			
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス			
2	周術期管理を含む麻酔科の処置 (歯科処置)	デモンストレーション		
3	周術期管理を含む麻酔科の処置 (歯科処置)	術後管理		
4	周術期管理を含む麻酔科の処置 (歯科処置)	カンファレンス、看護過程、術前準備、ロールプレイング		
5	周術期管理を含む麻酔科の処置 (歯科処置)	スケーリング実施		
6	周術期管理を含む麻酔科の処置 (歯科処置)	術後管理、看護の評価・計画		
7	周術期管理を含む麻酔科の処置 (歯科処置)	カンファレンス、看護過程、術前準備、ロールプレイング		
8	周術期管理を含む麻酔科の処置 (歯科処置)	スケーリング実施		
9	周術期管理を含む麻酔科の処置 (歯科処置)	術後管理、看護の評価・計画		
10	周術期管理を含む麻酔科の処置 (去勢手術)	カンファレンス、看護過程、術前準備、ロールプレイング		
11	周術期管理を含む麻酔科の処置 (去勢手術)	去勢手術 実施		
12	周術期管理を含む麻酔科の処置 (去勢手術)	術後管理、看護の評価・計画		
13	周術期管理を含む麻酔科の処置 (不妊手術)	カンファレンス、看護過程、術前準備、ロールプレイング		
14	周術期管理を含む麻酔科の処置 (不妊手術)	不妊手術 実施		
15	周術期管理を含む麻酔科の処置 (不妊手術)	術後管理、看護の評価・計画		
16	調剤	調剤実習		
17	試験			
18	症例検討			
19	症例検討			
20	症例検討			

専門科目	講義	応用薬理・薬剤学	3学年	前期
目的及び留意点	1・2年で学んだ薬理・薬剤学を基礎にし、さらに専門的な知識を身につける。 又、東洋医学など、多岐にわたって薬について学ぶ			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	抗がん剤 (1)	ガンの発生、診断など		
2	抗がん剤 (2)	各種抗がん剤について		
3	抗がん剤 (3)	各種抗がん剤について		
4	免疫抑制薬 (1)	免疫抑制薬各論		
5	免疫抑制薬 (2)	免疫抑制薬各論		
6	東洋医学 (1)	東洋医学とは		
7	東洋医学 (2)	東洋医学の基礎理論		
8	漢方医学 (1)	漢方医学の基礎理論		
9	漢方医学 (2)	漢方薬①		
10	漢方医学 (3)	漢方薬②		
11	漢方医学 (4)	整体観・陰陽論		
12	漢方医学 (5)	五行学説		
13	漢方医学 (6)	気・血・津液		
14	漢方医学 (7)	臓象学説・病因		
15	漢方医学 (8)	経絡・経穴 (正経十二経脈・奇経八脈)		
16	漢方医学 (9)	正経十二経脈・督脈・任脈の分布		
17	漢方医学 (10)	疾患別 経穴・漢方薬		
18	漢方医学 (11)	疾患別 経穴・漢方薬		
19	試験			
20	まとめ			

専門科目	講義	応用栄養学	3学年	前後期
目的及び留意点	2年生の復習と応用により、体調に応じた食事管理ができるようになる。			
評価方法	筆記試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (1 時 限)				
週	教程	教程内容		
1	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	前期の授業と方法の説明と話し合い		
2	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	栄養とエネルギー	
3	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	水	
4	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	炭水化物	
5	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	脂質	
6	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	タンパク質	
7	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	ビタミン	
8	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	ミネラル	
9	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	ペットフード 種類、形状	
10	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	ペットフード 給与法	
11	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	復習 + Q&A カード作り	応用問題	
12	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	夏休みレポートの発表と話し合い		
13	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	夏休みレポートの発表と話し合い		
14	犬と猫の基礎栄養学の復習と応用	夏休みレポートの発表と話し合い		
15	まとめ			
16	試験			
17	症例検討			
18	症例検討			
19	症例検討			
20	症例検討			
後 期 (1 時 限)				
週	教程	教程内容		
1	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	消化器	1
2	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	消化器	2
3	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	膵臓	
4	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	肝臓	
5	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	腎臓、	
6	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	尿路	
7	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	肥満	
8	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	代謝性疾患	
9	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	癌と回復期	
10	病気と食事 復習と応用	復習 + まとめワークシート	心臓病、関節炎など	
11	病気と食事 復習と応用	後期まとめ		
12	試験			
13	症例検討			
14	症例検討			
15	症例検討			
16	症例検討			
17	症例検討			
18	症例検討			
19	症例検討			
20	症例検討			

実習科目	実習	動物行動実習	3学年	前後期
目的及び留意点	動物病院に来院した犬の行動から、各犬に対して必要な馴致項目を見つけ出しその手法を身につける。また、トレーニング(学習)の理論を学び、様々なトレーニング技術、さらにそれを他者に伝える手法を身につける。(飼い主と犬のより良い関係を構築が目標)			
評価方法	実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	犬の行動(講義と実技)	犬の行動について知り、どう接していくべきなのかを考察する		
2	犬の学習理論(講義と実技)	犬の学習理論について理解し、それを基に犬を用いてトレーニングを実践する		
3	犬の学習理論(講義と実技)	犬の学習理論について理解し、それを基に犬を用いてトレーニングを実践する		
4	小テスト	犬の行動および学習理論について理解度をチェックする		
5	子犬の成長過程(講義と実技)	子犬の心身の成長を各成長期毎に学ぶ		
6	子犬の成長過程(講義と実技)	子犬の心身の成長を各成長期毎に学ぶ		
7	カーミングシグナル(ボディランゲージを含む)について	子犬の社会科期で学ぶボディランゲージ・カーミングシグナルを知り、その必要性を学ぶ		
8	カーミングシグナル(ボディランゲージを含む)について	子犬の社会科期で学ぶボディランゲージ・カーミングシグナルを知り、その必要性を学ぶ		
9	問題行動とは	問題行動の定義について学ぶ		
10	問題行動とは	問題行動の原因について学ぶ		
11	問題行動の対処法	問題行動の対処法について学ぶ		
12	問題行動の対処法	問題行動の対処法について学ぶ		
13	問題行動の対処法	問題行動の対処法について学ぶ		
14	小テスト			
15	問題行動の診断	問題行動の聞き取りから診断までの手順を学ぶ		
16	問題行動の診断	問題行動の聞き取りから診断までの手順を学ぶ		
17	カウンセリングとは	カウンセリングの方法について学ぶ		
18	ロールプレイング	カウンセリングを実践		
19	ロールプレイング	カウンセリングを実践		
20	小テスト			
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	問題行動(無駄吠え)	正常行動と異常行動を知り、その原因について学ぶ		
2	問題行動(分離不安)	正常行動と異常行動を知り、その原因について学ぶ		
3	問題行動(攻撃行動)	正常行動と異常行動を知り、その原因について学ぶ		
4	問題行動(排泄、採食行動)	正常行動と異常行動を知り、その原因について学ぶ		
5	問題行動の予防	問題行動に対する対処方法について学ぶ①		
6	問題行動(事例1)	問題行動に対する対処方法について学ぶ②		
7	ロールプレイ(カウンセリング1)	飼い主さんから悩みの原因(問題行動)を聞き出し、対処法をアドバイスする		
8	ロールプレイ(カウンセリング2)	飼い主さんから悩みの原因(問題行動)を聞き出し、対処法をアドバイスする		
9	ロールプレイ(カウンセリング3)	飼い主さんから悩みの原因(問題行動)を聞き出し、対処法をアドバイスする		
10	実技テスト			
11	しつけ教室(パピークラス)	飼主・主催者 ロールプレイング		
12	しつけ教室(パピークラス)	飼主・主催者 ロールプレイング		
13	しつけ教室(パピークラス)	飼主・主催者 ロールプレイング		
14	しつけ教室(パピークラス)	まとめ		
15	しつけ教室(成犬クラス)	飼主・主催者 ロールプレイング		
16	しつけ教室(成犬クラス)	飼主・主催者 ロールプレイング		
17	しつけ教室(成犬クラス)	飼主・主催者 ロールプレイング		
18	しつけ教室(成犬クラス)	まとめ		
19	しつけ教室(問題行動クラス)	まとめ		
20	まとめ			

実習科目	実習	動物美容実習	3学年	前後期
目的及び留意点	後輩への指導の中でグルーミングの基本を学び直しつつ、更にカット等トリミングの応用を習得する。			
評価方法	実技試験			
テキスト	ドッググルーマー			
指 導 内 容				
前 期 (5時限)				
週	教程	教程内容		
1	グルーミング (1)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
2	グルーミング (2)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
3	グルーミング (3)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
4	グルーミング (4)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
5	グルーミング (5)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
6	グルーミング (6)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
7	グルーミング (7)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
8	グルーミング (8)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
9	グルーミング (9)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
10	グルーミング (10)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
11	グルーミング (11)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
12	グルーミング (12)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
13	グルーミング (13)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
14	グルーミング (14)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
15	グルーミング (15)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
16	グルーミング (16)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
17	グルーミング (17)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
18	グルーミング (18)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
19	グルーミング (19)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
20	グルーミング (20)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
後 期 (5時限)				
週	教程	教程内容		
1	グルーミング (1)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
2	グルーミング (2)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
3	グルーミング (3)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
4	グルーミング (4)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
5	グルーミング (5)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
6	グルーミング (6)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
7	グルーミング (7)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
8	グルーミング (8)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
9	グルーミング (9)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
10	グルーミング (10)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
11	グルーミング (11)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
12	グルーミング (12)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
13	グルーミング (13)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
14	グルーミング (14)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
15	グルーミング (15)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
16	グルーミング (16)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
17	グルーミング (17)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
18	グルーミング (18)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
19	グルーミング (19)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		
20	グルーミング (20)	2～1人に1頭 (さまざまな犬種のトリミング)		

実習科目	実習	実践小動物看護実習	3学年	前後期
目的及び留意点	獣医師の治療補助や臨床検査、カルテ記入など、動物の状態を把握し様々な状況に対応できる看護技術を身に付ける。			
評価方法	実技試験			
テキスト				
指 導 内 容				
前 期 (5時限)				
週	教程	教程内容		
1	校有動物の治療・看護(1)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
2	校有動物の治療・看護(2)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
3	校有動物の治療・看護(3)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
4	校有動物の治療・看護(4)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
5	校有動物の治療・看護(5)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
6	校有動物の治療・看護(6)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
7	校有動物の治療・看護(7)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
8	校有動物の治療・看護(8)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
9	校有動物の治療・看護(9)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
10	校有動物の治療・看護(10)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
11	校有動物の治療・看護(11)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
12	校有動物の治療・看護(12)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
13	校有動物の治療・看護(13)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
14	校有動物の治療・看護(14)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
15	校有動物の治療・看護(15)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
16	校有動物の治療・看護(16)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
17	校有動物の治療・看護(17)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
18	校有動物の治療・看護(18)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
19	校有動物の治療・看護(19)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
20	まとめ			
後 期 (5時限)				
週	教程	教程内容		
1	校有動物の治療・看護(1)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
2	校有動物の治療・看護(2)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
3	校有動物の治療・看護(3)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
4	校有動物の治療・看護(4)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
5	校有動物の治療・看護(5)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
6	校有動物の治療・看護(6)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
7	校有動物の治療・看護(7)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
8	校有動物の治療・看護(8)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
9	校有動物の治療・看護(9)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
10	校有動物の治療・看護(10)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
11	校有動物の治療・看護(11)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
12	校有動物の治療・看護(12)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
13	校有動物の治療・看護(13)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
14	校有動物の治療・看護(14)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
15	校有動物の治療・看護(15)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
16	校有動物の治療・看護(16)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
17	校有動物の治療・看護(17)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
18	校有動物の治療・看護(18)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
19	校有動物の治療・看護(19)	診察補助、調薬、各種検査の実施		
20	まとめ			

実習科目	実習	応用看護実習	3学年	前後期
目的及び留意点	リハビリテーション、マッサージ療法、運動療法を実践することで、手術や外傷で落ちた運動機能・筋力を回復しQOL（生活の質）の改善を図る。			
評価方法	実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	整形外科的疾患 (1)	概論・関節損傷、関節骨折、軟骨骨症のリハビリテーション		
2	整形外科的疾患 (2)	前肢の疾患		
3	整形外科的疾患 (3)	骨盤と股関節疾患		
4	整形外科的疾患 (4)	後肢における疾患		
5	神経学的疾患 (1)	脊髄機能回復のための訓練		
6	神経学的疾患 (2)	脊髄機能回復のための訓練		
7	神経学的疾患 (3)	運動能力向上のための訓練		
8	神経学的疾患 (4)	運動能力向上のための訓練		
9	高齢動物 (1)	高齢動物 特有の問題		
10	高齢動物 (2)	体重の減量 関節の安定化、関節の保護		
11	高齢動物 (3)	運動療法		
12	高齢動物 (4)	運動療法		
13	ドッグマッサージ総論	マッサージ目的、注意点		
14	ドッグマッサージ基礎	マッサージの基本的な手技		
15	ドッグマッサージ実習 (1)	マッサージ実習 (1)		
16	ドッグマッサージ実習 (2)	マッサージ実習 (2)		
17	ドッグマッサージ実習 (3)	マッサージ実習 (3)		
18	まとめ			
19	ロールプレイング	飼主様への指導		
20	ロールプレイング	飼主様への指導		
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	動物看護過程 (1)	リハビリテーション、マッサージの実施		
2	動物看護過程 (2)	リハビリテーション、マッサージの実施		
3	動物看護過程 (3)	リハビリテーション、マッサージの実施		
4	動物看護過程 (4)	リハビリテーション、マッサージの実施		
5	動物看護過程 (5)	リハビリテーション、マッサージの実施		
6	動物看護過程 (6)	リハビリテーション、マッサージの実施		
7	動物看護過程 (7)	リハビリテーション、マッサージの実施		
8	動物看護過程 (8)	リハビリテーション、マッサージの実施		
9	動物看護過程 (9)	リハビリテーション、マッサージの実施		
10	動物看護過程 (10)	リハビリテーション、マッサージの実施		
11	動物看護過程 (11)	リハビリテーション、マッサージの実施		
12	動物看護過程 (12)	リハビリテーション、マッサージの実施		
13	動物看護過程 (13)	リハビリテーション、マッサージの実施		
14	動物看護過程 (14)	リハビリテーション、マッサージの実施		
15	まとめ			
16	復習	リハビリテーション、マッサージの実施		
17	復習	リハビリテーション、マッサージの実施		
18	復習	リハビリテーション、マッサージの実施		
19	復習	リハビリテーション、マッサージの実施		
20	復習	リハビリテーション、マッサージの実施		

実習科目	実習	臨床検査・画像診断実習	3学年	前後期
目的及び留意点	動物の治療や外科手術で必要となるレントゲンの撮影と読影の実践。身体検査、血液検査、心電図検査について検査手順および検査結果から獣医師の評価と指示を理解できるようになる。			
評価方法	実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	術前検査 (1)	ガイダンス		
2	術前検査 (2)	シュミレーション		
3	術前検査 (3)	スケーリング術前検査・術前準備		
4	術前検査 (4)	スケーリング術前検査・術前準備		
5	術前検査 (5)	カンファレンス・術前準備		
6	術前検査 (6)	去勢手術術前検査・術前準備		
7	術前検査 (7)	去勢手術術前検査・術前準備		
8	術前検査 (8)	カンファレンス・術前準備		
9	術前検査 (9)	去勢手術術前検査・術前準備		
10	術前検査 (10)	去勢手術術前検査・術前準備		
11	術前検査 (11)	カンファレンス・術前準備		
12	術前検査 (12)	不妊手術術前検査・術前準備		
13	術前検査 (13)	不妊手術術前検査・術前準備		
14	術前検査 (14)	まとめ		
15	術前検査 (15)	ケーススタディ		
16	術前検査 (16)	ケーススタディ		
17	術前検査 (17)	ケーススタディ		
18	術前検査 (18)	周術期管理の検討		
19	術前検査 (19)	周術期管理の検討		
20	術前検査 (20)	周術期管理の検討		
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	術前検査 (21)	シュミレーション		
2	術前検査 (22)	カンファレンス・術前準備		
3	術前検査 (23)	不妊手術など術前検査・術前準備		
4	術前検査 (24)	不妊手術など術前検査・術前準備		
5	術前検査 (25)	不妊手術など術前検査・術前準備		
6	術前検査 (26)	不妊手術など術前検査・術前準備		
7	術前検査 (27)	不妊手術など術前検査・術前準備		
8	術前検査 (28)	不妊手術など術前検査・術前準備		
9	術前検査 (29)	不妊手術など術前検査・術前準備		
10	術前検査 (30)	不妊手術など術前検査・術前準備		
11	術前検査 (31)	不妊手術など術前検査・術前準備		
12	術前検査 (32)	不妊手術など術前検査・術前準備		
13	術前検査 (33)	不妊手術など術前検査・術前準備		
14	術前検査 (34)	まとめ		
15	術前検査 (35)	クライアントエデュケーションと飼主応対	ロールプレイング	
16	術前検査 (36)	クライアントエデュケーションと飼主応対	ロールプレイング	
17	術前検査 (37)	クライアントエデュケーションと飼主応対	ロールプレイング	
18	術前検査 (38)	クライアントエデュケーションと飼主応対	ロールプレイング	
19	術前検査 (39)	クライアントエデュケーションと飼主応対	ロールプレイング	
20	術前検査 (40)	クライアントエデュケーションと飼主応対	ロールプレイング	

実習科目	実習	外科手術実習	3学年	前後期
目的及び留意点	周術期における外科看護技術を体得する。少人数で行う実習により、臨床現場で求められる早さと正確性を向上させる。			
評価方法	実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	周術期管理 (1)	講義 麻酔管理・術式について①		
2	周術期管理 (2)	講義 麻酔管理・術式について②		
3	周術期管理 (3)	犬のスケーリング周術期管理		
4	周術期管理 (4)	犬のスケーリング周術期管理		
5	周術期管理 (5)	講義 去勢手術について、縫合練習		
6	周術期管理 (6)	犬の去勢手術 周術期管理		
7	周術期管理 (7)	犬の去勢手術 周術期管理		
8	周術期管理 (8)	講義 潜在精巢について		
9	周術期管理 (9)	犬の去勢手術 周術期管理 (潜在精巢含む)		
10	周術期管理 (10)	犬の去勢手術 周術期管理 (潜在精巢含む)		
11	周術期管理 (11)	講義 犬の不妊手術について		
12	周術期管理 (12)	犬の不妊手術 周術期管理 (潜在精巢もあり)		
13	周術期管理 (13)	犬の不妊手術 周術期管理 (潜在精巢もあり)		
14	周術期管理 (14)	まとめ		
15	周術期管理 (15)	周術期管理の検討		
16	周術期管理 (16)	周術期管理の検討		
17	周術期管理 (17)	周術期管理の検討		
18	周術期管理 (18)	周術期管理の検討		
19	周術期管理 (19)	周術期管理の検討		
20	周術期管理 (20)	周術期管理の検討		
後 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	周術期管理 (21)	講義 疼痛管理		
2	周術期管理 (22)	講義 乳歯遺残 微量点滴		
3	周術期管理 (23)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
4	周術期管理 (24)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
5	周術期管理 (25)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
6	周術期管理 (26)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
7	周術期管理 (27)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
8	周術期管理 (28)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
9	周術期管理 (29)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
10	周術期管理 (30)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
11	周術期管理 (31)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
12	周術期管理 (32)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
13	周術期管理 (33)	犬の不妊手術等 及び 乳歯遺残 周術期管理		
14	周術期管理 (34)	まとめ		
15	周術期管理 (35)	クライアントエデュケーションと飼主応対 ロールプレイング		
16	周術期管理 (36)	クライアントエデュケーションと飼主応対 ロールプレイング		
17	周術期管理 (37)	クライアントエデュケーションと飼主応対 ロールプレイング		
18	周術期管理 (38)	クライアントエデュケーションと飼主応対 ロールプレイング		
19	周術期管理 (39)	クライアントエデュケーションと飼主応対 ロールプレイング		
20	周術期管理 (40)	クライアントエデュケーションと飼主応対 ロールプレイング		

実習科目	実習	エキゾチックアニマル実習	3学年	前後期
目的及び留意点	イヌ、ネコとは全く異なるエキゾチックアニマルの生態、特徴を学び、飼育方法、動物病院における接し方などを習得することを目的とする。			
評価方法	筆記試験・実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	ウサギ栄養	ウサギ栄養		
2	ウサギ栄養	ウサギ栄養		
3	ウサギ栄養	ウサギ栄養		
4	ウサギ麻酔	ウサギ麻酔		
5	ウサギ麻酔	ウサギ麻酔		
6	ウサギ麻酔	ウサギ麻酔		
7	ウサギ麻酔	ウサギ麻酔		
8	モルモット	モルモット		
9	モルモット	モルモット		
10	モルモット	モルモット		
11	モルモット	モルモット		
12	チンチラ	チンチラ		
13	チンチラ	チンチラ		
14	チンチラ	チンチラ		
15	試験対策	試験対策		
16	症例検討			
17	症例検討			
18	症例検討			
19	症例検討			
20	症例検討			
後 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	フェレット副腎疾患/ハムスター実習	フェレット副腎疾患/ハムスター実習		
2	プレ・ジリス	プレ・ジリス		
3	プレ・ジリス終了	プレ・ジリス終了		
4	水棲カメの基礎	水棲カメの基礎		
5	カメ実習	カメ実習		
6	水棲カメ/リクガメ	水棲カメ/リクガメ		
7	カメの臨床	カメの臨床		
8	カメの臨床	カメの臨床		
9	カメの臨床	カメの臨床		
10	ハンドリング	ハンドリング		
11	ハンドリング	ハンドリング		
12	ハンドリング	ハンドリング		
13	試験対策	試験対策		
14	症例検討			
15	症例検討			
16	症例検討			
17	症例検討			
18	症例検討			
19	症例検討			
20	症例検討			

実習科目	講義	プレゼンテーションスキル	3学年	前後期
目的及び留意点	ポスターセッション、口演など研究の成果発表する上で必要な、効果的なスライドや図表、抄録の作成、明確に伝える技術を習得する。			
評価方法	実技試験			
テキスト	プリント			
指 導 内 容				
前 期（1時間）				
週	教程	教程内容		
1	プレゼンテーション概論①	プレゼンテーションについて		
2	プレゼンテーション概論②	プレゼンテーションの構成		
3	プレゼンテーション概論③	プレゼンテーションの発表・振返り		
4	視覚と効果的な表現方法①	視覚情報と脳について		
5	視覚と効果的な表現方法②	プレゼンテーション（スライド）作成		
6	視覚と効果的な表現方法③	プレゼンテーション発表・振返り		
7	視覚と効果的な表現方法④	色彩について①		
8	視覚と効果的な表現方法⑤	色彩について②		
9	視覚と効果的な表現方法⑥	図表について		
10	視覚と効果的な表現方法⑦	レイアウトについて		
11	視覚と効果的な表現方法⑧	文字について		
12	視覚と効果的な表現方法⑨	レジュメの作成		
13	発表について①	口演とスライドの関係		
14	発表について②	プレゼンテーション作成		
15	発表について③	プレゼンテーション発表・振返り		
16	プレゼンテーションの実践①	プレゼンテーション発表準備①		
17	プレゼンテーションの実践②	プレゼンテーション発表準備②		
18	試験	実技試験		
19	試験	実技試験振返り		
20	まとめ	前期まとめ		
後 期（1時間）				
週	教程	教程内容		
1	効果的なパワーポイント①	インフォグラフィックについて		
2	効果的なパワーポイント②	インフォグラフィックの作成・発表①		
3	効果的なパワーポイント③	インフォグラフィックの作成・発表②		
4	効果的なパワーポイント④	インフォグラフィックの作成・発表③		
5	効果的なパワーポイント⑤	アニメーションについて		
6	効果的なパワーポイント⑥	アニメーション作成		
7	プレゼンテーションで用いる資料①	プレゼンテーションで用いる配布資料について		
8	プレゼンテーションで用いる資料②	レジュメの作成		
9	口演について①	話し方について		
10	口演について②	話し方の実践		
11	質疑応答について①	質疑応答について		
12	質疑応答について②	質疑応答の実践		
13	プレゼンテーションの実践①	卒業研究発表プレゼンテーション作成①		
14	プレゼンテーションの実践②	卒業研究発表プレゼンテーション作成②		
15	プレゼンテーションの実践③	卒業研究発表プレゼンテーション作成③		
16	プレゼンテーションの実践④	卒業研究発表リハーサル1		
17	プレゼンテーションの実践⑤	卒業研究発表リハーサル②		
18	試験	実技試験		
19	試験	実技試験振返り		
20	まとめ	後期まとめ		

実習科目	講義	卒業研究実習	3学年	前後期
目的及び留意点		主としてペット動物の感染症で最近話題となっている疾病をとりあげてその理解を深める。さらに、卒業研究を目的として人獣共通感染症に関する調査・実験を行い動物看護師としての対応のスキルを高め、最終的には学会発表を目指す。		
評価方法		課題提出・発表		
テキスト				
指 導 内 容				
前 期 (2時限)				
週	教程	教程内容		
1	研究内容の検討・決定	2～3人のグループに分かれ、6テーマを決定		
2	文献調査	適宜検索		
3	文献調査	適宜検索		
4	文献調査・調査実験開始	各テーマの調査・研究		
5	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
6	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
7	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
8	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
9	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
10	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
11	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
12	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
13	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
14	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
15	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
16	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
17	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
18	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
19	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
20	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
後 期 (4時限)				
週	教程	教程内容		
1	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
2	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
3	文献調査・調査実験	各テーマの調査・研究		
4	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
5	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
6	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
7	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
8	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
9	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
10	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
11	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
12	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
13	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
14	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
15	文献調査・調査実験/発表準備	卒業研究発表に向けたpptの作成及び発表準備		
16	発表/投稿	学内発表、学外発表、研究成果の投稿		
17	発表/投稿	学内発表、学外発表、研究成果の投稿		
18	発表/投稿	学内発表、学外発表、研究成果の投稿		
19	発表/投稿	学内発表、学外発表、研究成果の投稿		
20	発表/投稿	学内発表、学外発表、研究成果の投稿		

必修選択科目 専門科目	実習	アニマルアロマ実習	3学年	前後期
目的及び 留意点	ライセンス取得を目指し授業を行う。 ホリスティックアロマを通し、動物について学ぶ。			
評価方法				
テキスト				
指 導 内 容				
前 期 (3時間)				
週	教程	教程内容		
1	ホリスティックアロマ概要	協会講師講義		
2	ホリスティックアニマルアロマセラピーとは	協会講師講義		
3	精油について	精油について		
4	アロマオイルについて	アロマオイルについて		
5	犬のマッサージ	犬と猫の違い		
6	猫のマッサージ	犬と猫の違い		
7	精油が働くメカニズム①	精油の扱い、役割等		
8	精油が働くメカニズム②	精油の扱い、役割等		
9	アロママッサージ①	実習		
10	アロママッサージ②	実習		
11	アロママッサージ③	実習		
12	アロママッサージ④	実習		
13	アロママッサージ⑤	実習		
14	アロママッサージ⑥	実習		
15	アロママッサージ⑦	実習		
16	アロママッサージ⑧	実習		
17	アロママッサージ⑨			
18	まとめ			
19	まとめ			
20	まとめ	協会講師		
後 期 (3時間)				
週	教程	教程内容		
1	前期復習①			
2	前期復習②			
3	前期復習③			
4	犬・猫の解剖学	犬猫の体の仕組みについて		
5	アロママッサージ①	実習		
6	アロママッサージ②	実習		
7	アロママッサージ③	実習		
8	アロママッサージ④	実習		
9	アロママッサージ⑤	実習		
10	アロママッサージ⑥	実習		
11	アロママッサージ⑦	実習		
12	アロママッサージ⑧	実習		
13	アロママッサージ⑨	実習		
14	試験対策①	ライセンス対策授業		
15	試験対策②	ライセンス対策授業		
16	学科試験			
17	実技試験	協会講師		
18	ライセンス試験			
19	ライセンス試験解説			
20	総括	まとめ		

必修選択科目 専門科目	実習	ハンドリング実習	3学年	前後期
目的及 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ トリマーとして最低限必要なハンドリング知識の習得 ・ ハンドラーライセンス初級・中級取得レベル到達の為の技術向上 			
評価方法				
テキスト				
指 導 内 容				
前 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	ハンドリングとは1	ハンドリングの基本		
2	ハンドリングとは2	〃		
3	JKCハンドリング方法	〃		
4	トックショーのシステム(1)／ハンドリング実習(1)	ハンドリング学・ハンドリング実習		
5	トックショーのシステム(2)／ハンドリング実習(2)	〃		
6	トックショーのシステム(3)／ハンドリング実習(3)	〃		
7	トックショーのシステム(4)／ハンドリング実習(4)	〃		
8	トックショーのシステム(5)／ハンドリング実習(5)	〃		
9	トックショーのシステム(6)／ハンドリング実習(6)	〃		
10	専門知識(1)／ハンドリング実習(7)	〃		
11	専門知識(2)／ハンドリング実習(8)	〃		
12	専門知識(3)／ハンドリング実習(9)	〃		
13	専門知識(4)／ハンドリング実習(10)	〃		
14	ハンドリング実習(11)	ハンドリング実習		
15	ハンドリング実習(12)	〃		
16	ハンドリング実習(13)	〃		
17	ハンドリング実習(14)	〃		
18	まとめ			
19	まとめ			
20	まとめ			
後 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	前期復習			
2	前期復習			
3	前期復習			
4	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
5	ハンドリング実習	〃		
6	ハンドリング実習	〃		
7	ハンドリング実習	〃		
8	ハンドリング実習	〃		
9	ハンドリング実習	〃		
10	ハンドリング実習	〃		
11	ハンドリング実習	〃		
12	ハンドリング実習	〃		
13	ハンドリング実習	〃		
14	試験対策①	ライセンス対策授業		
15	試験対策②	ライセンス対策授業		
16	学科試験			
17	実技試験			
18	ライセンス試験			
19	ライセンス試験解説			
20	総括	まとめ		

必修選択科目 専門科目	実習	訓練実習	3学年	前後期
目的及び 留意点	家庭犬訓練士初級のライセンス取得を目指し授業を行う。また、授業を通してしつけの必要性・しつけ方について学ぶ。			
評価方法				
テキスト				
指 導 内 容				
前 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	訓練学 (1) / 訓練実習 (1)	訓練学・訓練実習①		
2	訓練学 (2) / 訓練実習 (2)	訓練学・訓練実習②		
3	訓練学 (3) / 訓練実習 (3)	訓練学・訓練実習③		
4	訓練学 (4) / 訓練実習 (4)	訓練学・訓練実習④		
5	訓練学 (5) / 訓練実習 (5)	訓練学・訓練実習⑤		
6	訓練学 (6) / 訓練実習 (6)	訓練学・訓練実習⑥		
7	訓練学 (7) / 訓練実習 (7)	訓練学・訓練実習⑦		
8	訓練学 (8) / 訓練実習 (8)	訓練学・訓練実習⑧		
9	訓練学 (9) / 訓練実習 (9)	訓練学・訓練実習⑨		
10	訓練学 (10) / 訓練実習 (10)	訓練学・訓練実習⑩		
11	訓練学 (11) / 訓練実習 (11)	訓練学・訓練実習⑪		
12	訓練学 (12) / 訓練実習 (12)	訓練学・訓練実習⑫		
13	訓練学 (13) / 訓練実習 (13)	訓練学・訓練実習⑬		
14	訓練学 (14) / 訓練実習 (14)	訓練学・訓練実習⑭		
15	訓練学 (15) / 訓練実習 (15)	訓練学・訓練実習⑮		
16	訓練学 (16) / 訓練実習 (16)	訓練学・訓練実習⑯		
17	訓練学 (17) / 訓練実習 (17)	訓練学・訓練実習⑰		
18	訓練学 (18) / 訓練実習 (18)	訓練学・訓練実習⑱		
19	訓練学 (19) / 訓練実習 (19)	訓練学・訓練実習⑲		
20	訓練学 (20) / 訓練実習 (20)	訓練学・訓練実習⑳		
後 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	訓練学 (1) / 訓練実習 (1)	訓練学・訓練実習①		
2	訓練学 (2) / 訓練実習 (2)	訓練学・訓練実習②		
3	訓練学 (3) / 訓練実習 (3)	訓練学・訓練実習③		
4	訓練学 (4) / 訓練実習 (4)	訓練学・訓練実習④		
5	訓練学 (5) / 訓練実習 (5)	訓練学・訓練実習⑤		
6	訓練学 (6) / 訓練実習 (6)	訓練学・訓練実習⑥		
7	訓練学 (7) / 訓練実習 (7)	訓練学・訓練実習⑦		
8	訓練学 (8) / 訓練実習 (8)	訓練学・訓練実習⑧		
9	訓練学 (9) / 訓練実習 (9)	訓練学・訓練実習⑨		
10	訓練学 (10) / 訓練実習 (10)	訓練学・訓練実習⑩		
11	訓練学 (11) / 訓練実習 (11)	訓練学・訓練実習⑪		
12	訓練学 (12) / 訓練実習 (12)	訓練学・訓練実習⑫		
13	訓練学 (13) / 訓練実習 (13)	訓練学・訓練実習⑬		
14	訓練学 (14) / 訓練実習 (14)	訓練学・訓練実習⑭		
15	訓練学 (15) / 訓練実習 (15)	訓練学・訓練実習⑮		
16	訓練学 (16) / 訓練実習 (16)	訓練学・訓練実習⑯		
17	訓練学 (17) / 訓練実習 (17)	訓練学・訓練実習⑰		
18	ライセンス試験			
19	ライセンス試験解説			
20	総括	まとめ		

必修選択科目 専門科目	実習	猫美容実習	3学年	前後期
目的及 留意点	キャットグルーマーライセンス各級取得レベル到達の為の技術向上			
評価方法				
テキスト				
指 導 内 容				
前 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	猫のグルーミング手順と基礎を学ぶ	グルーミング手順、猫の扱い方の復習		
2	猫の基本的な扱いを学ぶ	猫実習		
3	〃	〃		
4	作業手順の徹底	〃		
5	〃	〃		
6	基本の確認	〃		
7	後期に向けての最終確認	〃		
8	猫実習 1	グルーミング 1		
9	猫実習 2	グルーミング 2		
10	猫実習 3	グルーミング 3		
11	猫実習 4	グルーミング 4		
12	猫実習 5	グルーミング 5		
13	猫実習 6	グルーミング 6		
14	猫実習 7	グルーミング 7		
15	猫実習 8	グルーミング 8		
16	猫実習 9	グルーミング 9		
17	猫実習 1 0	グルーミング 1 0		
18	猫実習 1 1	グルーミング 1 1		
19	猫実習 1 2	グルーミング 1 2		
20	猫実習 1 3	グルーミング 1 3		
後 期 (3時限)				
週	教程	教程内容		
1	各レベルに合った仕上がりの向上	猫実習		
2	〃	〃		
3	〃	〃		
4	〃	〃		
5	猫実習 1	グルーミング 1		
6	猫実習 2	グルーミング 2		
7	猫実習 3	グルーミング 3		
8	猫実習 4	グルーミング 4		
9	猫実習 5	グルーミング 5		
10	猫実習 6	グルーミング 6		
11	猫実習 7	グルーミング 7		
12	猫実習 8	グルーミング 8		
13	猫実習 9	グルーミング 9		
14	猫実習 1 0	グルーミング 1 0		
15	猫実習 1 1	グルーミング 1 1		
16	猫実習 1 2	グルーミング 1 2		
17	猫実習 1 3	グルーミング 1 3		
18	ライセンス実技試験 (初級)			
19	ライセンス実技試験 (中級・上級)			
20	総括	まとめ		